

2023 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 聖ヨハネ会

社会福祉法人聖ヨハネ会

基本理念

カトリックの精神に基づき、永遠の生命を有する人間性を尊重し、「病める人、苦しむ人、弱い立場の人」に奉仕します。

基本方針

1. 援助を必要とする人々をかけがえのない存在として関わり、人間の尊厳にふさわしい医療または福祉を追求しながら、共にいのちの質を高め合う全人格的な援助を行います。
2. 社会福祉の事業として、良質なサービスを提供し、公正に運営します。
3. 法令及び規程に則り、事業を運営します。
4. 地域社会に立脚した事業として、地域の福祉または医療に貢献します。

職員の心得

1. 私たちは法人の理念を理解し、その具体的な実現に努めます。
2. 私たちは自己の使命を認識し、その職能の専門性を十分に発揮するように努力し、各々が役割に応じた自己啓発に努めます。
3. 私たちは社会福祉事業である各施設を相互に理解のもとに、連携、協力に努めます。

活動の理念

病に苦しむ人、ハンディを負った人、自立の困難な人の隣人となって、援助の手を差しのべ、その必要に応じて最善を尽くします。

2023 年度事業報告

目 次

一	法人本部事業報告	・ ・ ・ ・ ・ 2
二	事業経営	・ ・ ・ ・ ・ 6
	1 障害福祉部門	・ ・ ・ ・ ・ 6
	2 高齢福祉部門	・ ・ ・ ・ ・ 32
	3 医療部門	・ ・ ・ ・ ・ 60
	4 収益事業部門	・ ・ ・ ・ ・ 66
三	理事会	・ ・ ・ ・ ・ 67
四	評議員会	・ ・ ・ ・ ・ 70
五	経営会議	・ ・ ・ ・ ・ 71

一 法人本部事業報告

【はじめに】

2023 年度は新型コロナウイルス感染の発生から 4 年が経過し、5 月に感染症 5 類へと移行された年となったが、病院事業をはじめ、高齢福祉部門、障害福祉部門のすべてにおいて患者・利用者さんと職員に感染が確認され、中でも入所施設においてはクラスターが発生することもあり、利用閉鎖や新規利用の中止など、引き続き事業運営上大きな支障をきたす結果となった。

この間も職員が毎日の緊張した状態の中で安全安心のために懸命に尽力してくれた結果、大きな広がりにならなかったと考えている。

一方、事業収支は今年度も大変厳しい結果となり、継続性の観点からも様々な点での取捨選択を迫られている。その中で病院事業については資金繰りが厳しく、修道会からの支援金を充てることとなった。また桜町聖ヨハネホームにおいては職員の退職補充が進まない時点があり、一時的に利用者の制限を余儀なくされる事態もあった。全事業において職員の採用に苦慮する中、いかに定着して働いてもらうかを今まで以上に真剣に考えていかなければならないことと認識している。毎月開催している理事会でも有効な対策を検討している。

病院事業は一旦縮小均衡を考える時と判断し、収支を安定させるための取捨選択を進め、事業継続させていくことを考えていきたい。

2025 年問題、その先の 2040 年問題と、当法人が今後遭遇していく諸問題に英知を結集して対処していかなければならないと考えるが、医療と介護（障害）の連携を特に意識しながら、地域共生社会の実現を目指して活動していきたい。

【事業報告】

- 1 理事会において、理事長及び業務執行理事の業務執行状況を報告した。(6月及び11月)
- 2 会計監査人による2023年度の会計監査を実施した。
- 3 所轄庁への現況報告書を整備した。また財務規律の強化として作成義務のある財務諸表等電子開示システムに関する各種データを作成し、社会福祉充実残額を算出した。

4 法人機能の強化

(1)サービスの質の向上

(ア) 定款によって定められた「運営協議会」の第13回を2023年7月に、第14回を2024年1月に開催した。利用者家族や民生委員から構成される協議会で、要望や意見を聴く機会となり今後のサービスに反映していくこととなった。

開催日：第13回 2023年7月31日(月) 10:30-11:30

第14回 2024年1月29日(月) 10:30-11:30

(イ) 昨年度に引き続き法人内の全事業所を対象とした研修会は実施できなかった。

(2)地域における公益的な取組の推進

(ア) 関係団体(全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、小金井市社会福祉協議会等)が主催する連絡会等へ参加し、法人間の連携や広域的な取り組みに協力した。(開催はすべてリモート開催)

○会議名：東京都社会福祉協議会医療部会

開催日：2023年5月、7月、9月、11月、12月、2024年1月、3月

○会議名：全国福祉医療施設協議会

開催日：2023年10月、12月、2024年3月

○会議名：東京都社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会

開催日：2023年4月、6月、7月、9月、11月、2024年1月、2月

(3)信頼と協力を得るための情報発信

(ア) 2023年度事業計画及び予算、2022年度事業報告及び決算をホームページへ掲載した。また各事業活動、提供するサービスの内容、公益的な取り組みの実施状況等について、広報誌等を作成し利用者や家族、地域住民に発信した。

(イ) コロナ禍における感染に関する取り組みや各施設の活動等を地域の町内会へ知っていただくための「聖ヨハネ会かわら版」を発行した。

(4)人材の確保に向けた取り組みの強化

(ア) 人材採用活動支援

特に高齢福祉部門の職員採用等を中心に、人材紹介会社との連携による人材確保、法人での採用面接会の開催などを実施し採用支援した。

(5)組織統治（ガバナンス）の確立

(ア) 内部管理体制の基本方針に基づき、組織体制を整備した。

5 事業運営に沿った規程類の整備について

各部門において給与規程、就業規則、組織規程、運営規程等について改訂した。

6 職員交流を目的としたレクリエーションは実施できなかった。

7 聖ヨハネホスピスケア研究所、シニアハイムさくら及び障害福祉部門東京事業所、高齢福祉部門の会計業務及び事務業務をサポートした。

その他活動については、後述の経営会議の活動実績を参照されたい。

8 庶務・登記・監査事項等

1) 定款変更認可申請

●基本財産処分

- ① 2024 年 1 月 訪問看護事業の廃止
基本財産の増減

2) 登記

登記年月日	登記内容
2023 年 6 月 26 日	資産の総額 (5,792,789,973 円) (2023 年 3 月 31 日変更)

3) 指導監査等

実施年月日	内容	監査人等
2023 年 4 月 24 日	令和 4 年度小金井市障害者 日中活動系サービス推進事 業補助金実績報告に係る実 地調査	小金井市
2023 年 11 月 1 日	指導監査（富士聖ヨハネ学 園 管理・経理・処遇）	山梨県福祉保健部福祉保 健総務課 監査指導担当
2023 年 11 月 16 日	適時調査（桜町病院）	関東信越厚生局
2023 年 11 月 20 日	厚生年金保険被保険者の 資格及び報酬等の調査	日本年金機構立川年金事 務所
2023 年 12 月 12 日	医療法第 25 条第 1 項の規 定に基づく立入検査	東京都保健医療局
2024 年 1 月 23 日～ 24 日、3 月 6 日	実地検査（桜町聖ヨハネホ ーム、桜町高齢者在宅サー ビスセンター	東京都福祉局指導監査部
2023 年 5 月 24 日	2022 年度監事監査	監事 会計監査人

4) 調査等

提出年月	提出内容	提出先
2023 年 5 月	障害者雇用状況報告書	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
2023 年 6 月	社会福祉法人調査票 現況報告書	東京都福祉保健局指導監査部指導調整課指導調整係
2023 年 7 月	事業報告書	独立行政法人 福祉医療機構

二 事業経営

1. 障害福祉部門

【 総 括 】

部門の方針及び事業について

2023 年度は 5 月に新型コロナウイルスが 2 類相当から 5 類へ移行となり、世の中は様々な場面でコロナ禍前に戻りつつある。しかし、新型コロナウイルスが無くなったわけではなく、山梨・東京でも利用者・職員等が時折感染する状況にあるため、部門としては引き続きこれまで同様の感染防止対策を続けている。幸い 2023 年度は大規模なクラスターは発生せず、安定した事業運営ができた。

課題である利用者の重度化・高齢化対応に取り組み、入所やグループホームなどの居住系事業では事業の整理が進みつつあるが、日中系事業については利用者の動向や状況等に鑑み事業の在り方を含めて今後の検討を進めていくことが課題となっている。

支援面では、虐待行為等はなかったが、一昨年の状況を踏まえたさらなる支援の質の向上に向けて研修や事例検討等を踏まえ、職員意識の改革と質の向上を目指す取り組みを行った。

また、就業規則と給与規程の改正に年間通して取り組んでおり、次年度中に結論を出したい。

財務状況について

障害福祉部門は、東京都民及び山梨県民向けの事業を行っており、事業内容も入所・通所施設から相談支援まで幅広い。性質上採算が見合わない事業もあるが、どの事業も必要不可欠であるとともに相互の協働・補完関係にあることから部門全体で取り組むことを指針としている。

しかし、通常の事業形態においても、東京事業部の就労移行支援事業では近年入所者が少なく定員割れの状態が続いており、2024 年度は利用者が皆無となるため財政に大きな負担を強いている。事業形態の転換で収支の改善を目指すべく行政と協議を進めているところであるが難航している。当面は各事業所で定員を充足させていくことを最優先課題としつつ、事業の見直しについて様々な角度から検討を行い財務状況の改善を図っていききたい。

中期経営計画について

法人理念に則り、利用者ニーズに向き合った支援体制の構築と安定した事業運営を行うための利用率向上に取り組んだ。コロナ禍の影響も薄まり学園では新規入所者や通所施設の利用者が増えつつある。利用者支援では利用者の重度化・高齢化が進む中で、可能な限り地域での生活を継続していくための仕組みが必要であるが、部門では幅広い事業形態があることから利用者の状態に合わせた適切な生活環境の提供に今後も取り組んでいきたい。

中期経営計画については、「人材の確保と育成」「地域公益活動」を中心に進めてきた。今年度から新規計画に基づく三年間となるため、「部門の財政基盤を安定させるための事業見直し」を重点目標として進めていきたい。また、年々厳しさを増す人材確保・定着であるが、事業存続にかかわるようなかつてない状況までになっていることから、採用関連ノウハウについて大手の人材会社からともに歩める小規模な会社に変更し、採用方法や教育機関との連携を強化することで 2024 年度 1 名の新規採用が実現した。次年度以降はさらなる強化を図る必要があるため、山梨と東京で緻密な連携を図りながら採用・教育・定着の基本スタイルを確立したい。

また、情報発信と福祉の魅力発信のため、Instagram の運用に向けて検討を行った。

拠点区分名：富士聖ヨハネ学園

I 事業所名	：富士聖ヨハネ学園
サービス区分名	：施設入所支援事業・短期入所事業・生活介護事業

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (2023 年度)	利用率 (2022 年度)	利用率 (2021 年度)
生活介護	154 人	134 人	129 人	83.0%	83.0%	83.0%
施設入所支援	122 人	121 人	120 人	98.4%	95.2%	93.4%
短期入所	8 人	—	0.07 人	5.3%	16.6%	48.8%

平均年齢 54.7 歳（最高 76 歳 最低 25 歳）

男女比率 60 名（男子）：61 名（女子）

平均在所期間 28.7 年（最長 51.8 年）

年間入所 3 名 年間退所 3 名（死亡）

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2024 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
園長	1		1							1		1
サビ管	5		5							5		5
生活支援員	68	33	101	2		3	3	5	3	70	33	103
事務員	3	1	4							3	1	4
栄養士・ 調理員	7	8	15		1	1		1	1	6	9	15
設備等	2	5	7				2		2	2	3	5
医師		1	1								1	1
看護師	2		2		1				1	1		1
医療事務員		1	1								1	1
合計	88	49	137	2	2	4	5	6	13	88	48	136

*非正規職員については、拠点間異動を含むため合計数値が一致しない。

【施設運営状況】

新型コロナによる運営への影響は減少し、通常の運営に戻りつつある。入所支援では、退所（死亡）にともなう入所者数の減少を、入所者の確保の迅速な対応により補うことができていた。一方短期入所支援の利用率は、入所者への感染リスクの回避から低くなっている。

【利用者支援状況】

新型コロナウイルスの5類感染症移行により、利用者の活動、外出機会、保護者との面会が増えており、利用者の表情にも笑顔が戻ってきたように思われる。

以上の取り組みについては、本年度実施された第三者評価でも、利用者、保護者から評価を頂いている。情報の開示と共有は、これからも迅速かつ丁寧に行っていきたい。

【施設整備状況】

- ・保護者及び関係者のみなさまからのご寄付により天井埋込式の加湿器を設置することができた。
(生活環境の改善に大きく寄与すると思われる。)
- ・学園設備では、昨年に続き冷暖房機器の不具合の発生頻度が増え、その修理のための費用が大きくなっている。今後、修理から機器の交換購入も必要な状況にある。
- ・学園入口の接続道路（仮称：新鐘山道路）は仮橋が設置され、本橋の建設に入っている。学園としては、取付道路の構造、防音壁、石碑移動等に対しての陳情を行っている。

【教育研修】 山梨事業部（富士聖ヨハネ学園）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
4月3日	法人新任職員研修	法人本部	5名
4月4日	部門新任職員研修	富士聖ヨハネ学園 会議室2	5名
4月27日	管理監督者研修（課長、係長）サビ管とは！	富士聖ヨハネ学園 会議室1	14名
5月14日	栄養マネジメントを学ぶ	オンライン研修	1名
5月16日17日	強度行動障害者支援者養成研修（基礎）	青少年センター	1名
5月21日	頸部聴診法（嚥下に見えるか）研修	オンライン研修	1名
5月29日	調理法見学研修（峡北シルバークアホーム）	峡北シルバークアホーム	2名
6月10日	食事支援研修	富士吉田コミセン	2名
6月14日	育児介護休業法の理解	富士聖ヨハネ学園 会議室1	18名
6月16日	サービス管理責任者更新研修	青少年センター	1名
6月20日（3日間）	サービス管理責任者 基礎研修	アイメッセ山梨	1名
6月27日28日	強度行動障害者支援者研修 実践研修	青少年センター	2名
7月21日	新任職員対象研修（入職～3年）	青少年センター	2名
7月26日	知的障害者への食事支援（楽しく、美味しく）	食事サービス課事務所	2名
7月27日	虐待防止研修	富士聖ヨハネ学園 会議室2	20名
8月3日4日	関東地区代表者研修会	メトロポリタン長野	1名
8月7日	介護研修（健康観察）	富士聖ヨハネ学園 会議室2	16名
8月10日	介護研修（日常生活を支える）	富士聖ヨハネ学園 会議室2	16名
9月1日	ハラスメントのない職場づくり	富士聖ヨハネ学園 会議室2	12名
9月19日	DWT研修	アイメッセ山梨	1名
10月14日	障害者施設向け感染症対策研修	都留市交流センター	1名
11月7日～3月	強度行動障害者中核人材育成研修	オンライン研修・大阪	1名
11月16日17日	全国知的障害福祉関係職員研修大会	富士急ハイランドリゾート	3名
11月23日	強度行動障害者支援研修（課）	富士聖ヨハネ学園 会議室1	18名

11月30日(2日間)	カトリック福祉施設研修大会	品川プリンスホテル	2名
12月5日6日	都外施設研修見学会	はんとく苑	1名
12月13日	給食施設における衛生管理の研修	オンライン研修	16名
12月19日	障害福祉の高齢化の課題 研修	ぴゅあ総合	1名
1月4日	障害福祉監督職等支援講座(厚生労働省)	オンライン研修	1名
1月5日	高齢施設見学研修(食事)	寿荘	3名
1月17日	虐待防止研修 基礎	青少年センター	3名
1月19日	富士東部栄養士会研修	富士東部保健所	2名
1月30日	事業継続計画作成研修	オンライン研修	1名
2月1日	虐待防止・権利擁護研修	青少年センター	1名
2月5日	食えること・生きること	オンライン研修	5名
2月7日	強度行動障害者支援養成フォローアップ研修	青少年センター	1名
2月9日	「自分らしい暮らし」	三鷹産業センター	1名
2月15日	虐待防止マネージャー研修	富士聖ヨハネ学園 会議室2	18名
3月15日	強度行動障害者支援者養成中核人材育成研修	K I T E N A新大阪	2名

※その他学園全体において計50回の研修 延べ外部研修135名、園内研修 290名参加

(各課で企画し取り組んでいる研修は除く)

その他 各課で新型コロナウイルス感染予防研修、介護研修を実施している。

Ⅱ 事業所名 : 富士聖ヨハネ学園 診療所

【施設運営状況】

各嘱託医師からの協力を頂き医療的な支援の体制がほぼ構築できている。またこの1年で支援と医療相互の協働も進んできている。

(現況 内科医 週1回 精神科医 週1回 精神科医 月1回 消化器内科月1回)

【利用者支援状況】

- ・日々の健康観察等(巡回)により利用者が適切な医療支援を受けることができるように取り組んだ。
- ・健康診断は、年2回実施し、結果を伝えるとともにその後のフォローを行っている。
- ・リハビリテーション委員会及び摂食嚥下カンファレンスを再構築し支援課、食事サービス課等と連携して利用者の支援を行っている。
- ・感染症予防、薬の管理、吸引の対応、応急手当等の研修会を、看護師を講師として実施している。(手洗い研修、ガウンテクニック研修、感染予防のための研修等)
- ・地域の協力を頂きながら早期のワクチン接種に取り組んでいる。(～6回目終了)
- ・支援課からの利用者の健康管理及び外部受診にかかわる相談に対応している。
- ・利用者の入退院時の医療支援(医療情報の整理、共有)に取り組んでいる。

【施設整備状況】

- ・ 診療に必要な機器を、医師と相談しながら購入している。
- ・ 医療関係（病院、薬局）では、電子カルテシステム（必要最小限の機能）等をベースとした情報の伝達と共有が進んでいるため診療所でも導入していきたい。

拠点区分名：富士北麓聖ヨハネ支援センター

Ⅲ 事業所名	：富士北麓聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	：生活介護事業・就労継続支援B型事業・短期入所事業

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2023年度)	利用率 (2022年度)	利用率 (2021年度)
生活介護	35人	35人	36.7人	77.8%	79%	89.7%
就労継続支援 B型	15人	11人	11人	67.2%	64%	61.9%
短期入所	3人	—	1.8人	73.7%	42.7%	42.6%

平均年齢 34.2歳（最高 67歳 最低 19歳）

男女比率 26名（男子）：22名（女子）

平均在所期間 6.8年（最長 10.1年）

年間入所 2名 年間退所 2名

【職 員】

	2023年4月1日の 職員数			年間退任・就任						2024年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	9	10	19		1				1	8	10	18
看護師	1	2	3							2	1	3
調理員		1	1								1	1
合計	12	13	25		1				1	12	12	24

【施設運営状況】

生活介護の契約者数、利用率共に増えてきていたが富士吉田聖ヨハネケアビレッジの利用者が2名退所したため契約数が減った。2023年度は相談支援事業所、基幹相談支援センター、特別支援学校など状況を伝えて利用率が上がるようにしたい。

就労継続支援B型については、新規利用者1名を加えて12名体制で活動を行った。この他は就労系事業所が圏域において飽和状態であり、施設見学は数件あったが利用にはつながっていない。生活介護同様、相談支援事業所、基幹相談支援センター、特別支援学校に空き状況・就労内容を伝えて利用率が上がるようにしたい。

年度末、市内にできた就労支援A型事業所に興味を示した利用者がいて体験利用を経て4月からそちらの利用が決定した。利用者の減少となるが、センターで行っていた就労支援が別の事業所

へ行き仕事を頑張りたいと思ってもらえたことは評価したい。

生活介護は強度行動障害の方の支援と医療的ケアの利用者を新たに1名加え、多様な利用者が通って来ているが大きな事故などなく運営が出来ている。また、支援の難しさが出てきているので職員間での情報共有が必要となる。

就労継続B型では新型コロナウイルスが5月～五類となり、かわらけの売り上げ、旅の駅・道の駅など売り上げ好調で昨年度の過去最高益をさらに上回ることができた。利用率が上がることで工賃向上へつながることもあるので他機関と連携していきたい。

【利用者支援状況】

(生活介護)

- ・活動内容を多様化し、利用者が多様な活動に参加できるようにした。それにより活動が活性化していった。
- ・理学療法士によるリハビリテーションプログラムの作成を行い、看護師を中心として実践を行った。リハビリを目的に利用されている方もいるので、しっかり連携して支援を行いたい。
- ・行動障害の方が他利用者との関係で粗暴行為へつながることがあるので支援の組み立てを考えたい。
- ・多動行動により1対1での対応を行っている利用者がいるため、時間帯によっては全体での協力体制が必要になっている。

(就労B)

- ・インボイス登録事業所となり受託作業を優先的に受け入れられているので、製造業の不況でも仕事が減っているにも関わらず、安定している。
- ・各作業の手順の見直しをすることで作業の迅速化、正確化を図っている。
- ・個別支援計画書に則った支援を継続していく。

【施設整備状況】

- ・センター内LED交換工事
- ・スタッフルームのドアの修理
- ・就労B型部屋の水道配管工事

【教育研修】 通所支援課（富士北麓聖ヨハネ支援センター）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
12/19	障害者の高齢化	びゅあ総合	2名
1/17	虐待防止基礎研修	県立青少年センター	2名
1/19	障害福祉施設に勤務する看護職の交流会	看護協会研修センター	
1/22	小児の肺・呼吸ケア研修 知識編	オンライン	1名
1/30 1/31	強度行動障害基礎研修	県立青少年センター	1名
2/9	自閉症の特性と知的障害の理解から始まる強度行動障害事例への支援	オンライン	2名
2/13	工賃向上アドバイザー派遣成果報告会	オンライン	1名
2/14 2/16	強度行動障害実践研修	県立青少年センター	1名
3/4	小児の肺・呼吸ケア研修 実践編	富士ふれあいセンター	1名

IV 事業所名	： 河口湖聖ヨハネケアービレッジ 富士吉田聖ヨハネケアービレッジ 寿聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	： 共同生活援助 （介護サービス包括型）・短期入所事業

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (2023 年度)	利用率 (2022 年度)	利用率 (2021 年度)
河口湖聖ヨハネ ケアービレッジ	9 人	9 人	9 人	100%	99.6%	90%
富士吉田聖ヨハネ ケアービレッジ	13 人	12 人	12 人	87.6%	91.4%	85.1%
富士吉田 CV 短期入所	1 人	—	1 人	90.7%	50.1%	45.5%

平均年齢 51.7 歳（最高 74 歳、最低 36 歳）

男女比率 10 名（男性）： 9 名（女性）

平均在所期間 12 年（最長 31 年）

年間入所 河口湖 CV1 名 年間退所 河口湖 CV 1 名 富士吉田 CV 2 名

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						令和 6 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	4	13	17							4	13	13
合計	6	13	19							6	13	19

【施設運営状況】

- ・重症心身障害者を対象とした寿ホームを含め、障害支援区分の高い方が多い中で、大きな事故もなく運営することが出来た。
- ・河口湖 CV 8 月 1 名退居 10 月 1 名入居された。
富士吉田 CV 12 月 2 名退居された。（1 名は病院 1 名は他施設）
- ・第三者評価受審、フィードバックが行われた。

【利用者支援状況】

- ・富士吉田 CV・河口湖 CV 利用者が新型コロナウイルスに感染し、3CV が同時期に閉鎖措置を取った。
- ・河口湖 CV 利用者 2 月腸閉塞の疑いで夜間に入院となった。
- ・富士吉田 CV（寿第 2）食事・水分摂取が難しく、対応に苦慮。都留市内の病院に入院していたが、より専門的な病院の方が良いとのことで桜町病院へ入院となり、退所となった。

- ・富士吉田 CV（寿第2）県内に実弟が入居する施設があり、その施設で GH を新設することと
で、入居の誘いを受けて、本人も一緒に施設にいたいとのことで退所となった。
- ・個別支援計画に則り、本人が希望する外出を計画、CV の交流会など計画していきたい。
- ・寿聖ヨハネ短期入所は利用者数をかなり増やすことができた。センター利用者 さぼーとヨハ
ネ利用者だけではなく、月 25～30 日の利用となっている。
- ・河口湖 CV は空き部屋を利用して女性のみ体験利用を実施。現在、定期利用者は 2 名 希望者
は 3 名ほどいる。

【施設整備状況】

- ・特になし

【教育研修】 居宅支援課（ケアビレッジ）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
6/22	虐待防止研修	寿第一	12 名
12/19	障害者の高齢化	ぴゅあ総合	1 名

V 事業所名 : さぼーとヨハネ
サービス区分名 : 相談支援事業

【2023 年度利用状況報告】

登録者 248 名

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						令和 6 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
相談支援 専門員	3	2	5							3	2	5
合計	4	2	6							4	2	6

【施設運営状況】

- ・山梨県「富士・東部圏域マネージャー」に 1 名出向
- ・富士北麓障害者基幹相談支援センター「ふじのわ」に 1 名出向
- ・富士聖ヨハネ学園入所利用者及び富士北麓地域に居住の方の計画相談契約者数が 248 件に達している。
- ・相談員の常勤 2 名が確保できているため、機能強化型（Ⅲ）の新規申請を行い、11/2 付で受理された。

【利用者支援状況】

- ・センター・富士吉田 CV の短期入所、センター利用者だけの対象であったが、学園通所課・さぼーとヨハネの利用者も利用ができるように拡大した。
- ・薬物・アルコール依存症者の計画作成を行っているが、利用の継続や意向が度々変わるため、難しさを感じている。

【施設整備状況】

- ・特になし

【教育研修】 相談支援課（相談支援）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
6/22	相談支援ネットワークやまなし 交流会	きぼうの家	2 名
6/28	虐待防止研修	きぼうの家	2 名
7/14・8/18・9/15・10/13	山梨県相談支援従事者現任研修	県立青少年センター・ぴゅあ総合	2 名
9/2・3	社会福祉士指導者研修会	甲斐市敷島総合会館	1 名
9/22	相談支援ネットワークやまなし 交流会	きぼうの家	1 名
10/5	個別避難計画研修	富楽時	2 名
10/6	地域包括ケア研修	保健所	1 名
10/16・17	専門別コース研修 就労支援研修	きぼうの家	1 名
3/7	相談支援ネットワークやまなし 交流会	きぼうの家	1 名

拠点区分名：障害福祉部門 小金井

VI 事業所名：小金井聖ヨハネ支援センター
サービス区分名：生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業
就労定着支援事業

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2023年 度)	利用率 (2022年 度)	利用率 (2021年度)
生活介護	25人	26人	19.9人	79.7%	70.9%	83.6%
就労移行	10人	1人	1.6人	16.5%	29.0%	56.0%
就労継続支 援B型	25人	22人	19.1人	76.7%	70.6%	80.4%

平均年齢 生活介護 37.0歳 就労移行 57歳 就労継続B型 32.0歳
(最高 69歳 最低 19歳)

男女比率 生活介護 17名：9名 就労移行 1名：0名 就労継続B型 13名：9名

平均在所期間 生活介護 6.1年 就労移行 1.11年 就労継続B型 7.3年 (最長7年)

年間入所 3名 年間退所 1名

【職 員】

	2023年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2024年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1		1							1		1
サービス 管理責任者	2		2							2		2
生活支援員	5	11	16		2	1	2	1	4	3	10	13
事務員	2	2	4							2	2	4
栄養士・ 調理員	2	3	5				1		1	2	2	4
医師		1	1								1	1
看護師		1	1								1	1
合計	12	18	30		2	1	2	1	4	10	17	26

【施設運営状況】

利用者が安心して通所できるように引き続き感染対策に留意し、毎日の健康観察や体調確認を継続し支援に従事した。年間で数名の方が新型コロナに感染したが、所内感染拡大には至らなかった。新型コロナの規制が緩和された為、創作活動を中心とした取り組みが可能となり、四季に合わせたイベントを企画することで利用者の満足度も得ることができた。また、特別支援学校在校生に対する実習についても再開し、数名の利用があった。

【利用者支援状況】

生活介護 利用者の高齢化が進み、若年者層と高齢者層の体力健康面での差が新型コロナ感染以前よりも顕著となったことから安全面に留意しながら支援を行った。また、送迎車による利用者置き去り防止対策として、安全装置の装着を行った。

就労移行支援については、利用者数の低迷が続いており通年での利用者募集を行ったが、近年での地域社会のニーズには必ずしも合致しておらず利用者の獲得には至らなかった。定着支援事業では所内での訓練や職場訪問を進めることで、一般企業での就労が長期的に定着できるように支援した。

就労継続B型では新型コロナの規制も緩和され、屋内外の作業の継続やパン・手芸品のイベント販売を活発的に取り組んだ。パン販売では客足も増加し、地域での認知度の向上も伺えた。また、地域との関わりの中で新たに卸売りの取引や出張販売を開始にあたりパンの製造個数を増やし対応、その中で利用者も積極的に作業に携わることで工賃アップに繋がるケースもみられた。《作業種類》パン販売は支援センターとワークセンターの2カ所で販売。新規卸販売(市内店舗)、法人敷地内移動販売を開始。【販売日 火・木・月末金】

○屋外清掃業務：法人本部内トイレ清掃、小金井市委託（公園・砂場・公園トイレ）清掃業務、地域不動産業者委託（アパート清掃、敷地内除草作業）、一般宅除草作業

○室内作業：パン製造・販売・配送、小金井市委託（リサイクル袋作り）、一般業者委託（ネジ組立て、封入、チラシ折り込み内職）、刺しゅう小物作り

○その他作業：各イベント出店など

【施設整備状況】

- ・支援C カーペット洗浄・エアコンフィルター洗浄
- ・支援C タブレット型PC3台購入
- ・パン工房 製氷機購入
- ・生活介護 ハイエース購入
- ・生活介護 送迎車両安全装置設置

Ⅶ 事業所名 : 小金井聖ヨハネワークセンター
サービス区分名 : 就労継続支援B型事業

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2023年度)	利用率 (2022年度)	利用率 (2021年度)
就労継続 支援B型	20人	19人	17.3人	86.8%	93.0%	86.7%

平均年齢 46.9 歳 (最高 81 歳 最低 23 歳)

男女比率 13 名 (男性) : 6 名 (女性)

平均在所期間 6.2 年 (最長 11.7 年)

年間入所 2 名 年間退所 3 名

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2024 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
サ ー ビ ス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	2	2	4							2	2	4
調理員		1	1			1	1				1	1
合計	4	3	7			1	1			4	3	7

【施設運営状況】

2023 年度は、新たに 2 名の利用者を受け入れ、5 名の退所者となった。定員 20 名に対し現員 19 名となるが毎日の通所が困難な利用者も数名在籍している。

新型コロナの規制も緩和され、屋内外の作業やイベント出店を活発的に取り組む。作業を行う中で地域との連携も広がり、新たにアパートの清掃依頼や近隣へのポスティング業務の契約も増やすことができた。販売業務では各イベントに積極的に出店し、支援センターのパンを軸に創作品や手芸品の販売と宣伝を行うことで認知度も向上し、売り上げの増加に繋がった。

また、利用者が主体となり、楽しくやりがいのある作業を一緒に取り組むことで、利用者の工賃アップや満足度の向上を目指した。

【利用者支援状況】

- ・内職業者より業務請負（株式会社エアーージェイ）
- ・有限会社石井ホームサービス（不動産業）よりアパート清掃、草刈り作業請負
- ・小金井市内にある真明寺、貫井保育園と清掃契約を結び継続中
- ・小金井市就労支援センターより東図書館壁面装飾展示請負
- ・ワークセンターにて制作した日用雑貨品や作品の販売イベント
- ・利用者就労支援 就労実績 0 名

【施設整備状況】

- ・タブレット型P C1 台購入

VIII 事業所名	: 小金井聖ヨハネケアビレッジ（7ユニット）
サービス区分名	: 共同生活援助事業（介護サービス包括型）

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2023年度)	利用率 (2022年度)	利用率 (2021年度)
本町1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町3	4人	4人	4人	100%	100%	100%
貫井北町	2人	2人	2人	100%	100%	100%
梶野町	7人	7人	7人	100%	100%	100%

平均年齢 53.0 歳（最高 81 歳、最低 31 歳）

男女比率 19 名（男性）： 8 名（女性）

平均在所期間 11.2 月（最長 20 年）

年間入所 0 名 年間退所 0 名

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2024 年 3 月 31 日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	7	21	28			1	3	1	3	7	19	26
合計	9	21	30			1	3	1	3	9	19	28

【施設運営状況】

小金井聖ヨハネケアビレッジ5ユニット（本町1・2・3、貫井北町、梶野町）全て定員を満たして安定した運営がされた。年度途中の1月に本町2の女性の退居があったが、2月に新規利用者が入居している。新型コロナウイルスについては引き続き感染症対策を行った。新型コロナウイルス罹患者は数名出たもののクラスターにはならず済んでいる。

【利用者支援状況】

新型コロナウイルス感染症は5類になり世間の空気は緩和傾向ではあるが今年度も感染症対策をしながらの生活であった。クラスターこそないものの日中活動先で職員・利用者が陽性となり、グループホーム利用者も健康観察のお願いがあるなどまだまだ安心できる状態とは言えない中、利用者の皆さんの日々の生活は大きな変化なく、なんとか無事に一年を過ごすことができた。コロナ禍以降、他法人の日中活動先の旅行が自粛されていたが、今年度は一泊旅行が決行され、利用者は非常に喜んでいた。グループホームでも少しずつ行動範囲を広げつつある。重度・高齢化は毎年の課題。通院も増え対応に追われている。

本町 CV が立ち上がって 20 年が経とうとしているが、立ち上げ時に入居した女性利用者が年度途中で山梨の学園に戻る事になり、翌月には新しいメンバーを迎える事となった。これからも、その人にとって今必要な支援は何か、適切な環境は・・・など継続して考えてゆきたい。

【施設整備状況】

- ・本町 ビルトインエアコン入替

IX 事業所名	: 緑町聖ヨハネケアビレッジ (2 ユニット)
サービス区分名	: 共同生活援助事業 (日中サービス支援型)

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (2023 年度)	利用率 (2022 年 度)	利用率 (2021 年度)
緑町 1	9 人	9 人	9 人	100%	100%	100%
緑町 2	9 人	9 人	9 人	100%	100%	100%

平均年齢 57.0 歳 (最高 69 歳、最低 29 歳)

男女比率 9 名 (男性) : 9 名 (女性)

平均在所期間 2.11 年 (最長 3.0 年)

年間入所 0 名 年間退所 0 名

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2024 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	10	3	13		2				2	8	3	11
合計	12	3	15		2				2	10	3	13

【施設運営状況】

緑町ケアビレッジ男女共定員を満たして安定した運営がされた。今年度は利用者メンバーの入退居なく環境は一定していた。昨年に引き続きコロナ禍での生活であり感染症対策を徹底して行っていたが、日中活動先や感染経路不明での発症者あり、その都度罹患者の隔離とその他の利用者も健康観察の為、通所を自粛し対応。罹患者は重篤にはならず、他への感染も広がらずに済んでいる。女性フロアは特に重度高齢化に対しての支援が必要となっており、転倒や骨折、怪我など身体的な変化や体力の低下が見られその都度支援方法の検討を行った。職員に関しては、年度末に女性職員2名の退職があり厳しい勤務体制となった。

【利用者支援状況】

今年度も新型コロナウイルス感染症対策をしながらの生活となった。コロナ・インフルエンザの発症者があり、その他の利用者は健康観察の為通所を自粛しての生活を余儀なくされたがコロナ禍での感染症対応にも慣れ、静かに過ごす事ができていた。重度高齢化が進む中、転倒による怪我や骨折もあり、認知が進んでいる利用者の支援も行ってきた。夜間の飛び出しや他人の敷地への侵入・警察からの職務質問・自傷・他害・悪性腫瘍の疑いなどの様々な特性を持った利用者さん達の生活の中で一年を振り返ると、毎年何かしら起きているものの皆さんが自分のペースで自分なりの生活を送れるようになってきているように思われる。少しずつではあるが移動支援を利用した外出や近隣への買い物や散歩など日常生活を楽しむ機会が増え、ボランティアによる介護要望体操も月に一度定期的に行われ希望者は参加している。今後も利用者が安心安全に生活できる住環境づくりと支援を継続してゆきたい。

【施設整備状況】

なし

X 事業所名	: 小金井聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	: 短期入所事業

【2023年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2023年度)	利用率 (2022年度)	利用率 (2021年度)
短期入所	4人	—	1.8人	43.8%	26.0%	28.8%

前年度から引き続き感染症対策を徹底しながら受け入れを行った。新規契約を積極的に行い、契約者は増えている。今年度は区の相談支援より緊急受け入れの依頼があり3カ月間の受け入れを行った。難しいケースではあったが、諦めない支援で取り組む。その後、施設入所が決まっている。今後も緊急ケースに関しても迅速に対応してゆく。

定期的に使われている利用者に関しては自分の家の様に使っている方や、宿泊を楽しみにしている利用者もおり引き続き安心して利用していただけるよう努めてゆきたい。

X I 事業所名 : 緑町聖ヨハネ短期入所
サービス区分名 : 短期入所事業

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (2023 年度)	利用率 (2022 年度)	利用率 (2021 年度)
短期入所	2 人	—	0.3 人	14.2%	42.0%	14.7%

今年度も感染症対策をしながら男性 1 床・女性 1 床での運営。男女とも緊急対応での受け入れを行っており男性に関しては基幹相談支援センターより依頼があり緊急ケースで 2 月から長期受け入れを行い継続中である。女性に関しては、相談支援職員より親元での生活が困難である為受け入れの依頼あり長期受け入れを行った。前年度より利用開始～今年度 11 月まで利用。その後、グループホーム入所が決まる。契約はあるものの、定期的な利用がない為、緊急受け入れ以外は空室となっている。利用者確保をし利用率の向上を図りたい。

X II 事業所名 : ふらっとヨハネ
サービス区分名 : 相談支援事業

【2023 年度利用状況報告】

登録者 157 名

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2024 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
相談支援専門員		3	3								3	3
合計	1	3	4							1	3	4

【施設運営状況】

2023 年度の「聖ヨハネ会障害福祉部門東京事業部」の小金井地区と清瀬地区の各事業所を利用されている方を中心に「サービス等利用計画」の作成とモニタリングを実施した。今年度はふらっとヨハネの利用者 2 名の虐待通報があり、地域生活拠点の枠組みで緊急対応をした。73 歳の利用者が通所先から一人暮らしなので生活面で、困っているようだと連絡を受け、地域包括支援センターに繋げ介護保険の居宅サービスが出来るように支援した等、他機関に繋げる相談支援をした。

【利用者支援状況】

2014年に「ふらっとヨハネ」が発足して以来たくさんの利用者の「サービス等利用計画」を作成してきたが現在の福祉サービスの支援では対応できないケースも増えてきた。

しかし医療サービスを繋げる事で利用者の関りも増えて家族の求めている希望のひかりが少しずつ見つけられようとしている。こうした連携力をさらに強化してその人と家族の人生を支えていきたい。

【施設整備状況】

今年度も「計画相談・ほのぼの more システム」による相談支援利用者全員の「サービス等利用計画の作成」と個人情報を一元化して今後の相談支援に備えている。

教育研修 小金井

2023/4/1 ～9/30	日本知的障害者福祉協会 オンデマンド研修 第3期 障害のある方への支援（基礎）	WE Bによる収録型動画配信	28名
2023/4/4	聖ヨハネ会障害福祉部門	富士聖ヨハネ学園	1名
2023/5/9 ～5/30	令和5年度医療・福祉事業所内 メンタルヘルスセルフケア研修	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/5/17	自然災害BCP策定のポイント ～報酬改定に向けたBCPを作り上げる～	zoomを使用したオンライン研修	2名
2023/6/1 ～7/20	令和5年度「部下・後輩を育てるコーチング」 - 質問・傾聴・承認スキルで、援助・支援力を高めよう	WE Bによる収録型動画配信	2名
2023/6/7	令和5年度医療・福祉事業所内 メンタルヘルスセルフケア研修（3講座連続）	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/6/13	意思決定支援から考える障害者の権利擁護	国立オリンピック記念青少年総合センター	1名
2023/6/22	強度行動障害支援 公開基礎講座	研究者英語センタービル	1名
2023/6/24	自閉症の特性と知的障害の理解から始まる 強度行動障害事例に対する地域支援の実践	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/6/25	「あらためて発達障害って？」発達障害の方々の 基本的な困り感に寄り添えるように	東京都左官工業協同組合 会議室	1名
2023/6/28	『知的障害のある人の性教育と支援のあり方について』 ～権利としてのセクシャリティを考える～	オンライン開催（Zoom ミーティング）	2名
2023/6/19	令和5年度東京都就労継続支援B型事業所向け	6/19 zoomによるオンライン	1名
2023/7/10	工賃アップセミナー	7/10 Coconeri ホール	
2023/6/29	令和5年度第1回虐待防止・権利擁護研修 （身体抑制等適正化に向けた内容含む）	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/7/5 ～7/26	令和5年度医療・福祉事業所内 メンタルヘルスセルフケア研修	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/7/19	自閉症の方々とかわるための基本	国立オリンピック記念青少年総合センター	1名
2023/7/21	自閉症支援について	zoomを使用したオンライン研修	2名
2023/7/25 ～9/13	令和5年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	オンデマンドによる講義：7/25～ 8/18 zoomによる演習：個別	4名
2023/7/26	おいしく、楽しく、美しく 知的障害者への食事支援 その考え方と手法	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/7/28	「軽度知的障害と生きるということ」 ～軽度知的障害と呼ばれる人たちのライフストーリーに学ぶ～	オンライン研修（zoom ミーティング）	5名
2023/7/29 ～9/10	ダウン症セミナー 「青年期・成人期・高齢期を考える」	WE Bによる収録型動画配信	2名
2023/8/1 ～9/23	令和5年度東京都サービス管理責任者基礎研修	講義WE Bによる収録型動画配信 演習国立オリンピック記念西洋念総合センター	2名
2023/8/2 ～9/8	安全衛生委員会 食中毒防止研修	WE Bによる収録型動画配信	72名

2023/8/20	「今後の福祉制度の行方」 意思決定支援をどのように支えていくのか	東京都左官工業協同組合 会議室	1名
2023/9/1	事務職員向け 知的障害・発達に偏りのある方の理解	滝乃川学園	1名
2023/9/1 ～9/21	令和5年度障害者グループホーム従事者基礎研修	オンライン	2名
2023/9/4 ～9/29	令和4年度強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	講義 WEBによる収録型動画配信 演習 日本教育会館	1名
2023/9/6	傾聴研修（基礎編）	飯田橋レインボービル	2名
2023/9/20	令和5年度医療・福祉事業所内 メンタルヘルスセルフケア研修（3講座連続）	zoomを使用したオンライン研修	2名
2023/9/12 ～10/4	令和5年度東京都サービス管理責任者更新研修	講義 WEBによる収録型動画配信 演習 国立オリンピック記念西洋念総合センター	1名
2023/9/15	『高齢知的障がい者への支援のあり方』	zoomを使用したオンライン研修	2名
2023/9/27 ～10/16	令和5年度強度行動障害支援者養成研修 実践研修	講義 WEBによる収録型動画配信 演習 東京都福祉保健財団	1名
2023/10/1 ～3/31	日本知的障害者福祉協会 オンデマンド研修 第4期 障害福祉制度の理解	WEBによる収録型動画配信	38名
2023/10/3	上級救命再講習	立川防災館3階体育館	1名
2023/11/8	食品衛生実務講習A	小平市民文化会館	1名
2023/11/13	事業者向け 食品表示法講習会	ルネこだいら大ホール	1名
2023/11/14	テレワークに関する障害者就労支援の取組	立川地方合同庁舎	1名
2023/11/21	食品衛生実務講習	調布市文化会館たづくり	3名
2023/11/22	発達障害者相談支援スキルアップ研修 実践研修Ⅱ 『発達障害のある人へのソーシャルスキルズ・トレーニング』	ワイム貸会議室高田馬場	1名
2023/11/29	東京事業部 安全運転講習	小金井聖ヨハネ支援センター及び 各事業所オンライン	45名
2023/12/1	障がいのある方の住まいについて	武蔵野プレイス	1名
2023/12/14	令和5年度 第3回 虐待防止・権利擁護研修 (身体抑制等適正化に向けた内容含む)	zoomを使用したオンライン研修	2名
2023/12/18 ～2024/3/15	社会福祉法人にとっての インボイス制度・電子帳簿保存法他	zoomによるオンライン	2名
2024/1/5 ～2/20	令和5年度 東京都サービス管理責任者実践研修	ンデマンドによる講義 : 1/5～1/9 集合型による演習 : 個別	2名
2024/1/15	利用者支援の中での支援者のメンタルヘルス	家の光会館	2名
2024/1/15	「将来を見据えた、地域で豊かに幸せに暮らすための支援計画と今の支援」～個別支援計画作成にあたり大切にしたいこと～	国立オリンピック記念青少年総合センター	1名
2024/1/19	自衛消防講習会	小金井消防署	1名

2024/1/20	東京ミュージックボランティア協会研修 みんなの家でキラキラ	みんなの家 (小平市)	1名
2014/1/24	働くことが難しい子をもつ家族のライフプラン ～親亡き後を生きるために～	c o c o b u n j i プラザ	1名
2024/1/26	若年性認知症介護・障害事業者向け研修会	zoomを使用したオンライン研修	1名
2024/1/29	強度行動障害支援アドバンス研修 公開講座「10周年記念講演会」	zoom ウェビナーを使用した オンライン講座	2名
2024/1/30	障害のある人の質の高い就労生活を 実現するための就労定着支援セミナー	zoomによるオンライン	1名
2024/2/3	「意思形成支援とは何か ～現場での実践から～」	飯田橋セントラルプラザ	1名
2024/2/5	食えること、生きること 最後まで食べられるための多職種間連携	zoomによるオンライン	3名
2024/2/9	強度行動障害支援メディカルセミナー	家の光会館	1名
	強度行動障害と医療		
2024/2/22	令和5年度 第4回 虐待防止・権利擁護研修	zoomによるオンライン	1名
2024/2/26	都市水害について学ぶ	zoomによるオンライン	1名
2024/3/4	障害者支援施設等における高齢・重度化、	zoomによるオンライン	1名
	強度行動障害への対応を考える		
2024/3/9	令和5年度医療・福祉事業所内	zoomを使用したオンライン研修	1名
	メンタルヘルスセルフケア研修		
2024/3/15	障害者支援施設等における高齢・重度化、	zoomによるオンライン	1名
	強度行動障害への対応を考える		
2024/3/23	生命（いのち）を守る防災・減災	小金井市民会館 萌え木ホール	1名
	～いざというときの備えとは～		

拠点区分名：障害福祉部門 清瀬

XⅢ 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	: 生活介護事業

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (2023 年度)	利用率 (2022 年度)	利用率 (2021 年度)
生活介護	20 人	23 人	20.5 人	102.6%	104%	104%

平均年齢 47.1 歳 (最高 70 歳 最低 22 歳)

男女比率 13 名 (男子) : 10 名 (女子)

平均在所期間 8.10 年 (最長 10.5 年)

年間入所 0 名 年間退所 1 名

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2024 年 3 月 31 日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	2	7	9				1		1	2	6	8
調理員		1	1								1	1
医師		1	1								1	1
看護師		2	2								2	2
合計	4	11	15				1		1	4	10	14

【施設運営状況】

2023 年度は、年度途中に 1 名の方がお亡くなりになった。入所者はなく年度途中から 23 名の利用者が一年間活動した。そのような中でも利用率は 100%を超えている。1 名退所したことから新規入所として 1 名を受け入れる余地がある状況となった。

5 月に新型コロナウイルスが 5 類へ移行したが、コロナが無くなったわけではないので事業所としては、変わらない感染対策を続けている。

【利用者支援状況】

2023 年度は、新型コロナウイルスが 5 類に移行したことで社会環境が変わり、イベントなどの活動が増えてきた。利用者の作品については、ボランティアの方の全面協力により 3 年連続で池袋サンシャインシティの店舗における作品展や 23 区内の信用金庫等に作品展示されるなど作品を広める機会が増え、さらにその縁で外部出店の機会が増えた。センターの活動は、社会情勢に

合わせて少しずつ活動範囲を広げていった。基本的な活動のはがき作りと創作活動を継続しつつ一人一人の支援の充実に取り組んだが、高齢化等による活動の在り方への課題もでてきた。

【施設整備状況】

- ・ 厨房 アンダーカウンター修理
- ・ 送迎車両安全装置設置
- ・ エアコン 1 台購入

XIV 事業所名 : 清瀬聖ヨハネケアビレッジ (4 ユニット)
サービス区分名 : 共同生活援助事業 (介護サービス包括型)

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (2023 年 度)	利用率 (2022 年度)	利用率 (2021 年 度)
下清戸 1	7 人	7 人	7 人	100%	100%	100%
下清戸 2	7 人	7 人	7 人	100%	100%	100%
中清戸 1	7 人	7 人	7 人	100%	100%	100%
中清戸 2	7 人	7 人	7 人		100%	100%

平均年齢 50.0 歳 (最高 70 歳、最低 22 歳)

男女比率 14 (男性) : 14 名 (女性)

平均在所期間 11.3 年 (最長 17.11 年)

年間入所 1 名 年間退所 1 名

【職 員】

	2023 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2024 年 3 月 31 日 の職員数		
	正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計	正 規 職 員		非 正 規 職 員		合 計		正 規 職 員	非 正 規 職 員	合 計
				就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	10	16	26				1		1	10	16	26
合計	12	16	28				1		1	12	16	28

【施設運営状況】

清瀬聖ヨハネケアビレッジ中清戸・下清戸ともに定員を満たしての安定した運営を行う事が出来た。前年度に引き続き感染症対策を行ったが、新型コロナウイルス・インフルエンザの蔓延

がありその都度ケアービレッジ内での隔離とフロアの閉鎖をに対応に迫られる事となった。また、救急搬送や入院、転倒による骨折や怪我なども続き、重度高齢化に対しての取り組みやケース会議等を行い検討を重ねた。職員状況については相変わらず慢性的な人手不足の状況があり求人を行っている。中清戸・下清戸とも定員を満たしての安定した運営ができています。

【利用者支援状況】

今年度もコロナ禍で引き続き感染症対策を行なっていたが、コロナ・インフルエンザともにクラスター発生し、フロアを閉鎖する事態となる。前年度より全体的に症状は軽く、重症化する利用者は無かった。重度高齢化は進んでおり、怪我や骨折、入院など医療面との連携が欠かせない状態である。その人にあったグループホーム以外の住処を探してゆかねばならないケースも出て来ている為、保護者・市役所・相談支援・日中活動先との話し合いなども重ねた一年であった。

日々の生活においては、少しずつ移動支援等も活用した外出なども行い利用者の意向を大事に取り組んだ。日中活動先での外出や行事も楽しむ事ができていた。今後も少しでも利用者一人一人の生活が充実し安心した生活ができるようにしてゆきたい。

【施設整備状況】

- ・下清戸 火災受信機基板交換
- ・下清戸 エレベーター修理
- ・中清戸 冷蔵庫 2 機購入

X V 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	: 短期入所事業

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3 月末)	1 日平均 利用者数	利用率 (2023 年 度)	利用率 (2022 年度)	利用率 (2021 年 度)
短期入所	2 人	—	0.2 人	20.9%	12.8%	10.1%

今年度も感染症対策をしながら男性 1 床・女性 1 床で運営。男性は週末利用者が定期的に入っているが、女性利用者は単発での利用のみで男女ともに利用率が低い。長期の休暇時に利用される方や、今年度契約された方も少しずつ利用されているので、今後も特に清瀬市の方に利用していただける様、周知し利用率の向上を図ってゆきたい。

教育研修 清瀬

2023/4/1 ～9/30	日本知的障害者福祉協会 オンデマンド研修 第3期 障害のある方への支援（基礎）	WEBによる収録型動画配信	38名
2023/6/22	強度行動障害支援 公開基礎講座	研究者英語センタービル	2名
2023/6/24	自閉症の特性と知的障害の理解から始まる 強度行動障害事例に対する地域支援の実践	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/6/28	『知的障害のある人の性教育と支援のあり方について』 ～権利としてのセクシャリティを考える～	オンライン開催（Zoom ミーティング）	1名
2023/7/21	自閉症支援について	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/7/25 ～9/12	直接介助におけるリスクマネジメント研修	講義 WEBによる収録型動画配信	1名
2023/7/25 ～9/13	令和5年度 東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	オンデマンドによる講義：7/25～8/18 zoomによる演習：個別	2名
2023/7/26	おいしく、楽しく、美しく 知的障害者への食事支援 その考え方と手法	zoomによるオンライン研修	1名
2023/7/29 ～9/10	ダウン症セミナー 「青年期・成人期・高齢期を考える」	WEBによる収録型動画配信	2名
2023/8/1 ～9/23	令和5年度 東京都サービス管理責任者基礎研修	講義 WEBによる収録型動画配信 演習国立オリンピック記念西洋念総合センター	1名
2023/8/2 ～9/8	安全衛生委員会 食中毒防止研修	WEBによる収録型動画配信	37名
2023/8/24	令和5年度第2回虐待防止・権利擁護研修 （身体抑制等適正化に向けた内容含む）	zoomによるオンライン研修	1名
2023/8/29	メンタルヘルスリスクへの対応とリスク管理 ～メンタルヘルス不調から職員を守るために～	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/9/1 ～9/21	令和5年度障害者グループホーム従事者基礎研修	zoomを使用したオンライン研修	1名
2023/9/14 ～10/31	福祉職のためのメンタルヘルス講習会	講義 WEBによる収録型動画配信	1名
2023/9/15	『高齢知的障がい者への支援のあり方』	oomを使用したオンライン研修	2名
2023/9/27	障がいのある人の表現活動と著作権について	オンライン（zoom）	1名
2023/9/30	ストレングスモデルを学ぼう	飯田橋セントラルプラザ	1名
2023/10/1 ～3/31	日本知的障害者福祉協会 オンデマンド研修 第4期 障害福祉制度の理解	WEBによる収録型動画配信	22名

2023/10/14 ～11/12	自閉スペクトラム症児・者のゆたかな教育と福祉を考える ～思春期・青年期・成人期をつなぐ～	講義 WEBによる収録型動画配信	1名
2023/10/17 ～11/1	令和5年度強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	講義 WEBによる収録型動画配信 演習 日本教育会館	1名
2023/11/7 ～12/26	令和5年度管理職のためのメンタルヘルス講習会 ～誰もが健やかに働ける職場づくり～	講義 WEBによる収録型動画配信 演習 日本教育会館	1名
2023/11/24	体験から学ぶ！ 福祉現場における会議ファシリテーション入門	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
2023/11/28 ～12/18	令和5年度強度行動障害支援者養成研修 実践研修	講義 WEBによる収録型動画配信	1名
2023/11/29	安全運転講習	小金井聖ヨハネ支援センター及び 各事業所オンライン	11名
2023/12/4	令和5年 虐待防止研修	清瀬市役所	3名
2023/12/9	医療ケア実践研修	飯田橋セントラルプラザ	1名
2023/12/14	令和5年度 第3回 虐待防止・権利擁護研修 (身体抑制等適正化に向けた内容含む)	zoomによるオンライン	1名
2024/1/5 ～2/20	令和5年度 東京都サービス管理責任者実践研修	オンデマンドによる講義 : 1/5～1/9 集合型による演習 : 個別	1名
2024/1/24 ～2/14	令和4年度強度行動障害支援者養成研修 実践研修	講義 WEBによる収録型動画配信 演習 東京都福祉保健財団	1名
2024/1/29	強度行動障害支援アドバンス研修 公開講座「10周年記念講演会」	zoom ウェビナーを使用した オンライン講座	1名
2024/2/2	上手な歯科医療のかかり方 ～かかりつけ歯科医をもとう！～	オンライン	1名
2024/2/5	食えること、生きること 最後まで食べられるための多職種間連携	zoomによるオンライン	1名
2024/2/9	4団体共催研修会 さまざまな「くらす」～自分らしい生活って？	三鷹産業プラザ7階	1名
2024/2/26	都市水害について学ぶ	zoomによるオンライン	1名

2. 高齢福祉部門

【事業概況】

部門の状況については、一昨年度に立てた3つの大きな方針、①桜町聖ヨハネホームの運営立て直し②在宅サービスセンター事業の選択と集中③桜町聖ヨハネホームの建て替え等に関する検討、を引き続き進めることとした。

①については、組織に空白役職があることや人事問題等を解消して運営を正常化すること、事務管理部の体制を検討していくことについて取り組んできたが、施設長を理事長が兼務し、施設長代行を2名置くという体制から次へ進めることはできなかった。そのような中で退職者が多く出たことから一時的な新規利用の制限や短期入所の制限を行うこととなり、隣接する病院へのご移動もお願いすることとなった。

また事務管理係については定年退職等により法人本部も協力し業務を引き継ぐ形をとった。時間外勤務についての見直しを行い業務の分担と実施内容を検証することで、今後の削減が期待できるものと思われる。

②については本町高齢者在宅サービスセンターの運営について、地域のご希望をお聞きする機会があり、また施設への職員の思いも確認する機会もあり、あらためて重要な拠点であることが確認できたため、事業継続することを前提に今後行政とも協議していくこととした。

③は桜町聖ヨハネホームの建て替えや近い将来改築が必要と思われる桜町高齢者在宅サービスセンターの今後について検討し、東京都社会福祉協議会が実施する特養建て替え意見交換会にも参加した。その中で桜町聖ヨハネホームについてはご利用者の生活にも大きく影響するほど老朽化が進んでいるため、エアコン、エレベータ等の改修を実施した。

新年度に向けて部門の屋台骨となる組織体制の立て直しを図りたいと考えているが、かなりの時間を要することであり職員各位の協力を得ることが必須である。特に介護現場体制の整備を継続して取り組んでいきたい。

新型コロナウイルスについては5類へ移行したが、引き続き感染症への対策を十分に図りながら、これまでのようにご家族の面会を再開させ、また職員を定着させ安定した施設の運営を戻していきたい。

I 桜町聖ヨハネホーム

(指定介護老人福祉施設・短期入所生活介護)

【2023 年度 利用状況報告】

種 別	定 員	1 日平均 利用者数	利用率 (2023 年度)	利用率 (2022 年度)	利用率 (2021 年度)
介護老人福祉施設	106 名	91 名	86.0%	86.60%	93.32%
短期入所生活介護	8 名	6 名	72.5%	90.5%	70.90%

平均年齢 88.20 歳（最高 103 歳、最低 73 歳）

男女比率 1 : 10（2024 年 3 月 31 日現在：93 名 内 入院 8 名）

平均在所期間 3 年 3 ヶ月（最長 16 年 6 ヶ月）

年間入所 25 名（2022 年度入所：45 名・2021 年度入所：25 名・2020 年度入所：34 名）

年間退所 28 名（2022 年度入所：50 名・2021 年度退所：26 名・2020 年度退所：33 名）

【職 員】

	2023 年 3 月 31 日 の職員数			年間入職・退職						2024 年 3 月 31 日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				入職	退職	入職	退職	入職	退職			
施設長	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
医 師	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	4	4
生活相談員	2	0	2	1	1	1	0	0	0	2	1	3
介護支援専門員	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
介護職員	28	13	41	13	21	2	4	15	25	20	11	31
看護職員	5	1	6	3	5	3	3	6	8	3	1	4
機能訓練指導員等	1	1	2	0	0	1	1	1	1	1	1	2
管理栄養士	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
調理員	5	6	11	0	0	0	0	0	0	5	6	11
事務職員	2	1	3	0	0	1	0	0	0	2	2	4
生活サポート	0	8	8	0	0	4	4	4	4	0	8	8
用務員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	46	36	82	18	27	12	12	26	38	37	36	73

※上記表には管理宿直員含まず

※派遣職員 2024 年 3 月 31 日現在 7 名

※日雇職員 2023 年度 延べ 566 名

【施設運営状況】

1. 財務状況について

(単位：千円)

	2023 年度	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度
当期資金収支差額	▲2,121	▲29,582	10,287	▲14,351	82,462
当期事業収支差額	▲16,308	▲46,072	▲1,513	▲28,559	▲31,022
人件費率	81.8%	82.4%	74.7%	80.4%	80.4%
修繕費	3,748	3,569	5,908	3,552	2,161
減価償却費	34,123	29,188	28,435	27,184	25,380

2023 年度は資金収支会計で約 2,121 千円の赤字、事業活動収支会計は約 16,308 千円の赤字決算となった。運営方針としては引き続き入院以外の空床期間を無くし、法人内施設の病院との連携を取り、資金を法人内で循環させる様取り組むことや、削減できる費用については段階的に削減した。

支出増の主な要因としては退職者多数の補充を、人材紹介機関経由で採用することが多く、その紹介料の支出増によるものであり、適正人員で運営出来る体制を構築していくことを目指しているが、昨今の人手不足もあり人材紹介に頼らざるをえないことも事実であった。

ここ数年の最大の課題と捉えている収支バランスについて、本年度も残念ながらバランスできている状態とはならなかった。新型コロナウイルス感染によるクラスター発生、職員補充が難しい中での断続的な特養の新規入所受け入れの停止、短期入所も受入停止という期間が続き、このことも収益減の大きな要因と言える。一時期には桜町病院へレスパイト入院としての受け入れをお願いしたが、新年度には職員を含めた体制を再構築し安定した運営を目指したい。

【利用者支援状況】

〔施設目標〕 桜町聖ヨハネホームを生活の場とされているご利用者の多様化するニーズに対応したサービスを多職種連携の下、誠意をもって提供する。(サービス)

施設目標としては多様化する世の中や人に対応でき、支援の仕方も多様化＝柔軟に対応できるようにと掲げられたものである。

1. 住み慣れた地域で長く穏やかな生活を支援できるよう、安定したケア・経営を全職員で進める。

住み慣れた地域で生活をしていきたい、またヨハネホームで生活したいと希望されて入所いただくご利用者も多様化してきている。また受け入れる私たち職員のサービスに対する意識も多様化してきている。しかしサービスの本質は、ヨハネホームの守るべきサービスの本質については職員が変わろうともその精神は受け継がれていくべきである。安定した経営は、安定したサービスの提供の上に成り立つものであり、そのどちらも欠けてはならない。

安定したケアは、安定した「心」の上に成り立つと考えられる。職員が安心して業務に取り組める環境も必要であり、ご利用者様へ安心安全を担保とした支援を継続して提供できるよう職員全員で互いの思いや考えを共有しそれを具現化していくこと、さらに各々の知識技術を上げていくことで確実な根拠に基づくケアの提供ができる。そして世の中の変化に遅れないような対応も必要である。来年度は介護報酬改定の年となるため、変化の波に乗り遅れないよう、安定した確実な経営につながるための準備を行いたい。

2. 適切な支援が出来るよう、職員が専門職としての責任感を持ち、自分の役割を果たす。

職員が定着して就業できるよう、仕事を継続していくために職員が目標をもって活躍できるような仕組みや環境づくりも必要である。また職員がご利用者をサービス提供の中心におき、適切な支援とは何かをしっかりと考え実践できるようになる必要がある。確実に行わなければならないことをいかに適切に効率的にできるのか、効率を求めるあまり人として忘れてはならないマナーである「思いやり」や「他者への配慮」を忘れないよう職員が職業人として誇りをもって取り組むことが大切である。つまりそれは専門職として役割を果たせることに繋がる。研修や職員間の協議を通じて引き続き取り組みをしていく。

3. ご利用様が安心して生活出来るよう、各係が連携・コミュニケーションを円滑にし、組織的に行動する。

業務多忙の中で、各係の連携のための業務上の連絡や情報の共有、問題意識の共有が不十分であったと思われる。何が必要で不要なのかの取捨選択、優先順位のつけ方、有事の対応の仕方など業務としてのキャリアを超えて組織的に行動することを含めすべてにおいて改善していきたい。

4. 開かれた施設であり続けるよう、地域のニーズに応えて行く。

2023 年度は、地域のボランティアや保育園、中学校等の受け入れを行うことができなかった。地域のニーズ（必要性）に応えることも施設としての役割と考えている。

【特記事項】

〔Ⅰ〕緊急ショートステイの受け入れについて

ご利用者は女性 10 名、男性 5 名の計 18 名。延べ利用日数は 135 日であった。

(前年度 女性 12 名、男性 6 名 計 18 名 延べ利用日数 184 日)

主な利用目的は、介護者の急な入院、手術など、介護者の急死により介護者が不在になったケース、本人の体調不良による ADL の急激な低下で家族が介護できない、認知症が進み独居が厳しくなったケースが各複数回あった。主介護者が退院した場合を除いては在宅に戻ることが難しく、他施設のショートステイに移ったり、他特養入所に至るケースも多くあった。本人の体調不良、ADL の低下は骨折であったり、リハビリ目的で桜町病院に入院されるケースもあった。

〔Ⅱ〕入所ご利用者の寝たきり度・認知症自立度について 2024. 3. 31 現在 単位(人)

寝たきり度

	J	A	B	C			計
男性	0	1	8	3			12
女性	1	20	50	10			81
合計	1	21	58	13			93

「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準」

ランク J 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。

ランク A 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出できない。

ランク B 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体である。

ランク C 1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。

認知症自立度

	自立	I	II	III	IV	M	計
男性	0	2	3	4	3	0	12
女性	1	2	19	50	9	0	81
合計	1	4	22	54	12	0	93

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」

ランクⅠ 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

ランクⅡ 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

ランクⅢ 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。

ランクⅣ 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。

ランクⅤ 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

〔Ⅲ〕入所ご利用者の要介護度の状況について（前年度末：比）

	《2023. 3. 31 現在》	《2024. 3. 31 現在》	
	男 性	男 性	前年同日本増減
要介護 1	0 名	0 名	±0 名
要介護 2	1 名	1 名	±0 名
要介護 3	4 名	3 名	－1 名
要介護 4	6 名	2 名	－4 名
要介護 5	6 名	6 名	±0 名
合 計	17 名	12 名	－5 名

	《2023. 3. 31 現在》	《2024. 3. 31 現在》	
	女 性	女 性	前年同日本増減
要介護 1	2 名	2 名	±0 名
要介護 2	5 名	5 名	－1 名
要介護 3	21 名	15 名	－6 名
要介護 4	27 名	32 名	＋6 名
要介護 5	27 名	27 名	±0 名
合 計	82 名	81 名	－1 名

【栄養部の取り組み】

2023 年度も、昨年同様に新型コロナウイルス感染症の影響によりご利用者様の活動が著しく制限され、ご家族との面会や外出、行事の縮小化もある中で、栄養係として何が出来るかを検討した。その結果、ご利用者様の健康面では栄養の充実を、生活面では食の楽しみを意識しイベント等も企画・実施した。

また昨年に引き続き、同法人桜町病院の言語聴覚士等の多職種と連携し、適切な嚥下状態の確認、適切なとろみの提供を行い、誤嚥性肺炎の予防、低栄養高リスク者の減少など ADL の維持に繋がるように努めた。

◎ご利用者の生の声を聴くために、利用者懇談会での聞き取りや、満足度アンケートを実施。集計、分析をして日々の献立に反映させた。

◎日々の食事を安心・安全に留意ながら提供を行った。またご利用者の栄養状態を把握し、多職種と連携し食事面からもサポートした。

◎手作りケーキを数種類とコーヒーや紅茶を提供するさくらカフェを1ヶ月に1回開催した。コロナ化で外出制限などのストレスを少しでも緩和出来るようにと始動し、毎回大変喜ばれている。

◎加算取得は、多職種と連携し継続して取り組めた。

【施設整備状況】

- 建設後 37 年を超え、ライフライン関連で高額な設備機械の更新や修繕費対応が近年続いている。
- 耐用年数を超過したものも多く、今期は中でも極めて優先順位の高い設備機械の更新を下記の通り実施した。
 - ・介護用車椅子を9台（5種類）を導入（昭和会助成金 70 万円）
 - ・介護用電動ベッド（スーパー低床）を3台新規導入（霞会館助成金を活用 100 万円）
 - ・介護用電動ベット 10 台の新規導入を3月に実施。（東京都補助金を活用 1/2 補助）
- 夏に日差しが直接居室に当たってしまうため、居室の室温上昇を緩和するための日よけシートを設置した。その効果により室温が2～3度減少した。
- ホームの建物・機械・設備については大規模修繕か全面改築かの判断と実施が喫緊の課題であるが、現存の短期的な修繕・機械設備管理についても財源的な制約もあり今後は十分な検討と実施が必要な状況となっている。

1. 主な固定資産取得（器具及び備品・車輛運搬具）

●	6 月	エアマット 3 台	367,400 円
●	6 月	ブリクサー1 台	243,760 円
●	8 月	エアコン 1 台	303,600 円
●	12 月	介護用電動ベッド 3 台（霞会館助成金）	1,131,900 円
●	1 月	介護用車椅子 9 台（昭和会館助成金）	785,000 円
●	2 月	介護用電動ベッド 10 台（東京都補助金）	3,270,000 円

2. 主な修繕費支出

●	5 月	冷房チラー切替工事 メンテナンス	338,800 円
●	5 月	地下・2F グリストラップ清掃	261,800 円
●	6 月	樹木の剪定	353,100 円
●	8 月	2 階居室個別エアコン化分電盤工事	132,000 円
●	2 月	入水排水ポンプ交換	297,000 円
●	2 月	地下給湯配管の漏水緊急修理	89,100 円

【労災状況等】

◎2023/5 介護職員 入浴介助中

介護職員 3 件 指を挟む事故

◎2023/10 調理員

ギックリ腰

【研修参加及び実施状況】

<外部研修>

No.	研修名	主催	場所	日程	参加者
1	褥瘡予防の観点に基づいたポジショニング・シーティング	東京都社会福祉協議会	研究者英語センタービル	8/4	機能訓練
2	多職種で学ぶライフ加算マネジメント	東京都社会福祉協議会	配信	9/6～10/6	介護・栄養・ケアマネ
3	管理職員研修	東京都社会福祉協議会	配信	10/24・25	課長
4	集団発生事例を通して施設管理を学ぶ	多摩府中保健所	多摩府中保健所	10/11	課長
5	災害に関する研修会	東京都災害福祉広域支援ネットワーク	配信 集合型	10/16～23 10/23	設備主任
6	介護福祉実習指導者講習会	ハッピー&スマイル	配信	9/8～	各係主要メンバー
7	食品衛生・栄養情報について	多摩府中保健所	ZOOM	12/15	栄養士
8	利用者の暮らしを支える食事支援	東京都社会福祉協議会	研究者英語センタービル	3/8	栄養士
9	北南ブロック生活相談員研修	東京都社会福祉協議会	西沙第三学童保育	3/8	相談員

<施設内動画研修>

1		
倫理および法令遵守に関して	8・9月	全職員
権利擁護（身体拘束）	8・9月	全職員
緊急時対応（脱水症をなくして無駄な入院を減らそう）	8・9月	全職員
医療に関して	8・9月	全職員
事故等に関して（リスクマネジメント）	8・9月	全職員
2.		
感染症、食中毒の予防（感染症対策）	11・12月	全職員
認知症に関して	11・12月	全職員
メンタルヘルス（ハラスメント）	11・12月	全職員
権利擁護	11・12月	全職員
3		
メンタルヘルス	2・3月	全職員
身体拘束廃止	2・3月	全職員
事故等再発防止に関して	2・3月	全職員

その他・褥瘡委員会 2023.11月に実施

桜町高齢者在宅サービスセンター

通所介護・訪問介護・訪問入浴介護・居宅介護支援・小金井市委託事業
 栄養事業（給食・食の自立支援）
 小金井きた地域包括支援センター（小金井市委託事業・介護予防支援）

【2023 年度利用状況報告】

種別	種別	定員	年間 延定員	延べ利用 者数	1日平均 利用者	利用率 (2023年)	利用率 (2022年)	利用率 (2021年)
介護保険事業	通所介護 (一般)	35名/日	10,745	6,957	22.7	64.5%	62.1%	51.3%
	通所介護 (認知)	24名/日	7,368	4,389	14.3	59.6%	63.0%	61.6%
	通所介護 (総合事業)	7.5名/日	2,920	1,774	7.1	60.1%	58.7%	
	訪問介護	90名/週	4,679	4,632	15.1	99.0%	82.1%	87.6%
	訪問入浴	4名/週	312	267	5.1	85.6%	117.3%	85.4%
	居宅介護支援	162件/月	1,944	1,966	163.8/月	101.1%	102.1%	102.1%
	予防・総合事業 プラン	310件/月	3,720	4,084	340/月	109.9%	106.1%	99.3%
栄養事業	給食	38食	11,666	11,395	37.1	97.7%	96.4%	
市委託事業	やすらぎ支援	年間延派遣回数 189回 利用者数 7名 支援員登録数12名						

【利用者の動向】

通所介護・認知症通所介護の要介護度の状況

① 通所介護（一般・総合事業）

2023年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	250	982	660	3,660	1,750	970	396	0	8,668
割合	2.9%	11.3%	7.6%	42.2%	20.2%	11.2%	4.6%	0.0%	100.0%
2022年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	203	955	665	3,335	1,978	820	378	0	8,334
割合	2.4%	11.5%	8.0%	40.0%	23.8%	9.8%	4.5%	0.0%	100.0%

② 認知症対応型通所介護

2023年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	930	1,310	795	595	758	4,388
割合	0.0%	0.0%	21.2%	29.8%	18.1%	13.6%	17.3%	100.0%
2022年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	1,218	1,336	866	657	565	4,642
割合	0.0%	0.0%	26.2%	28.7%	18.7%	14.2%	12.2%	100.0%

【職員】

	2024 年 4 月 1 日			年間退任・就任						2023 年 4 月 1 日		
	の職員数			正職員		非常勤職員		合計		の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	就任	退任	就任	退任	就任	退任	正職員	非常勤職員	合計
センター長	1 名		1 名							1 名		1 名
事務長			0 名									0 名
介護員	1 名	10 名	11 名							1 名	10 名	11 名
相談員	10 名	1 名	11 名	1	1	1		2	1	10 名		10 名
看護師		6 名	6 名								6 名	6 名
介護支援専門員	3 名	4 名	7 名			1		1		3 名	3 名	6 名
訪問介護員		8 名	8 名			1	3	1	3		10 名	10 名
運転員		4 名	4 名				1		1		5 名	5 名
栄養士	2 名	1 名	3 名	1				1		1 名	1 名	2 名
調理・補助・宅配		4 名	4 名				1		1		5 名	5 名
機能訓練指導員		2 名	2 名								2 名	2 名
事務員		2 名	2 名								2 名	2 名
高齢住宅管理人		6 名	6 名								6 名	6 名
清掃員		3 名	3 名			1		1			2 名	2 名
合計	17 名	50 名	67 名	2	1	4	5	6	6	16 名	52 名	68 名

【施設運営状況】

(1) 財務について

2023 年度も財務改善に向けて利用率回復・維持に取り組んだ。新型コロナウイルスによる利用控えや長期欠席はほぼなく、9 月に通所介護事業で職員とご利用者様数名のコロナ感染が確認されたがこちらによる利用率への影響も少なかった。

センター事業の選択と集中を推進し、訪問介護の適正規模での営業、訪問入浴事業の縮小化、通所介護事業の強化を実施し事業の効率化・人材の有効活用を進めた。

桜町センター全体の事業活動収入は予算値（二次補正予算値）263,582 千円に対して実績値は 264,175 千円（執行率 100.2%）であった。

事業活動支出は、時間外労働の削減や事務費・事業費の削減に取り組み予算値（二次補正予算値）262,595 千円に対して実績値は 259,278 千円（執行率 98.7%）となった。

結果、2023 年度桜町高齢者在宅サービスセンター事業全体の当期資金収支差額は 1,774 千円の黒字、当期活動増減差額は 3,947 千円の赤字となった。

収支状況の総括は下記の通りである。

- ① 一般型通所介護事業の利用率の安定（積極的な受入の実施）
- ② 認知症対応型通所介護の利用率の伸び悩み（SS 利用や入所が原因）
- ③ 訪問介護事業の人員不足による利用率の低迷
- ④ 人件費の高騰
- ⑤ 水光熱費、燃料費、給食費（食材費）の高騰

(2) 組織力向上・人材育成への取り組み

高齢福祉部門の組織力向上・人材育成については、経営会議・運営会議・職員会議を中心に職員面談や様々な場面での OJT を通して取り組んできたが、係間や職員間の組織的な連携が不足している点は引き続き大きな課題となっている。

今後も職員が同じ方向を向き、主体的性をもって課題に取り組むことのできる組織づくり・人材の育成を目指す必要がある。

- 1) センター長による職員面談の実施
- 2) 係長による職員面談の実施
- 3) 職員会議での課題に対するグループワーク
- 3) フィットティングサポートの継続的实施
- 4) 小金井市介護事業者連絡会への参加
- 5) 永年勤続表彰の実施
- 6) 経理・総務業務の法人本部統合への一本化

(3) サービスへの取り組み

※【利用者支援状況で取り上げ】

【利用者支援状況】

(1) リスクマネジメント

1) 利用者事故発生事例

- ・2023 年 8 月 21 日に機能訓練中に転倒事故が発生し、受診の結果右上腕骨の骨折が判明し、ご利用者様に対し事業所の加入保険による治療費賠償を行う。

2) ヒヤリハット

通所介護係では、2023 年度も年間を通してヒヤリハット事例を報告し、ミーティング内で事例の共有・改善策を話し合ってきた。2023 年度に事例として挙げたヒヤリハットの分類と件数は下記の通りである。

- ・送迎 (12 件) ・入浴 (1 件) ・転倒・移動 (13 件) ・服薬 (2 件)
- ・食事 (6 件) ・物品返却忘れ (3 件) ・他 (16 件)

※事例の共有・改善策の実施は、事故や苦情を未然に防いでいると考えられる。また、職員の責任感や緊張感をもった対応にもつながっている。

3) 苦情

- ・記載するレベルの苦情はなし。

4) 感染症について

① 施設としての感染予防対応

- ・ご利用者様受入れの際の感染症予防対策の実施
- ・職員健康管理の徹底
- ・外部事業者・ボランティア等入館時の健康状態確認
- ・新型コロナ感染症マニュアルの更新
- ・抗原定性検査キットによる集中的検査の週 2 回実施

② 感染事例

- ・9 月上旬、通所介護のご利用者様 4 名と関係する職員 4 名が新型コロナウイルスに感染。感染経路は不明だが、サービス提供時に罹患された可能性が高い。症状としては軽度で皆 7 日ほどで復帰している。
- ・認知症対応型通所介護を利用されていたご利用者様が、9 月上旬に体調不良にて入院

され、検査で肺結核にて発症・排菌しているとの診断が出る。

それを受けて府中多摩保健所の介入があり、一定時間接触のあったご利用者様、職員に対し桜町病院の協力も得て、採血による結核検査が9月下旬に実施される。

経過を追っていく必要はあるが、今のところ問題はなし。

(2) サービスへの取り組み

施設重点取組事項の振り返り

1) 通所介護・受託事業係

① 一般型通所介護・認知症対応型通所介護・総合事業通所型サービス

- ・入浴希望のある方の受入れ、手づくりの温かい昼食提供をアピールポイントに掲げ、積極的な新規利用者の受入をおこなった。一般型通所介護では、安定して新規依頼があり、比較的高い利用率を達成することができた。認知症対応型通所介護においては、重介護が必要な方も多く、入院・入所・ショートステイ利用、ご本人の利用拒否などの理由目標数値を大きく下回った。
- ・利用率を可視化することと、毎月行われる常勤ミーティングで共通認識をもつことで常に利用率や利用人数を意識して受入れをする姿勢は養われている。
- ・コロナ感染の5類への移行もあり「イベントボランティア」や「活動ボランティア」の受入れは、平常時に戻りつつある。今後ともご利用者様の楽しみや満足度向上に繋がる取り組みを実施していきたい。
- ・2024年1月に東京都福祉保健局による「実地検査」が実施され、個別機能訓練加算に関する記録の不備が指摘され、改善報告書の提出を行った。今後とも法令遵守に立った運営管理を徹底していく。
- ・自主的に考え行動できる職員と指示待ち職員との差が目立ち、人材育成については課題が多い。まずは職員間のコミュニケーションを充実させることが必要と考えており、年間を通して実施してきたミーティングでの課題に対するグループワークを充実させたい。

② 地域支援事業（小金井市受託事業）

<やすらぎ支援事業>

2023年度末現在12名のやすらぎ支援員が登録しており、うち2名が訪問活動中である。現在5名のご利用者様が事業を利用されている。感染症予防対策を講じながらご利用者様のご自宅を訪問しての見守り、傾聴を実施した。また支援員とは、担当職員が常にご利用者様の状況確認や指導、情報交換を行い、3月には支援員懇談会も実施した。

また、認知症サポーター養成講座の事務局機能も委託されており、適切なオレンジリング・テキストの在庫管理に努めた。

<家族介護教室>

「リフレッシュレクリエーション」をテーマとして3月25日に5名の方が参加され開催した。皆関心を示し大変好評であった。

<サブスタッフ養成・活動事業>

サブスタッフ養成事業」を10月～12月に実施し、5名の方が受講され今後サブスタッフとしての活躍が期待される。

サブスタッフ活動については、今までに養成講座を卒業された計5名の方が、桜町センター総合事業通所型サービスの「サブスタッフ」として、ご利用者様支援のための活

動を行った。

③ グリーンタウン高齢者住宅管理 （小金井市受託事業）

現在 70 世帯 85 名の入居者を対象に管理人 6 名で、月曜～土曜の日中帯に巡回や安否確認の管理業務を行っている。管理人とご入居者様との信頼関係は良好で、関係機関とも連携を密にとることで安全に安心して生活できる環境づくりに貢献出来た。

2) 訪問サービス係

① 訪問介護

2023 年度のヘルパー人員状況は、入職 2 名（登録）、退職 3 名（登録）。感染症に限らずヘルパー自体の加齢に伴う体調不良や親の介護による休みが顕著に見られた年度であった。仕事量を減らす、治療のため長期休養、退職などで派遣可能な月回数は単年度比較で 130 回分/月減少（12 月ベース）。それを埋めるべく他ヘルパーの協力で 110 回分/月の派遣増回を行った。各ヘルパーがこれ以上の派遣を増やせる状態になく、有休と公休の消化に影響が生じてしまい新規受付を下半期は中止。、利用終結の見込みを見ながら相談依頼を受けていく状態に至っている。

新入職者への教育面では、身体介護の経験の浅いヘルパーに対して、通所介護の協力で入浴介助をととした身体介護の経験を得ることができた。

利用者状況は、認知介護や身寄りのない認知症の独居の方への介護困難ケースも増えてきており、当事業所単独によるサービス提供が難しいと判断した場合は、速やかにケアマネジャーと相談の上、他事業所と連携して在宅生活の継続を支援するケースも増えてきている。利用中の方々の重度化に伴い派遣依頼が増えており、新規受付の中止や終結者により登録者数が減少しても、派遣に空きがなかなか出てこない状況である。

② 訪問入浴介護

運営体制として、事業縮小下のため月曜日の午後、金曜日の終日の約 1.5 日が稼働日。通所介護兼務の看護 2 名、介護 3 名のスタッフでサービス提供中である。

機材や車両は消耗に応じてメンテナンスを実施。専用車両の給湯設備の耐用年数から故障した場合は部品交換が不可のため廃車となる可能性高い。

利用者状況は、2023 年度末時点で利用者 4 名（超高齢、人工鼻などで他事業所へ移行せず当事業所で継続とした方々）。時節に応じてしょうぶ湯、ゆず湯の提供やクリスマスカードやお誕生日カードでお祝いさせて頂きご家族様とともに喜んで頂けている。

3) 栄養係

2023 年度途中に中途採用で常勤を採用した。非常勤職員の体調不良や退職意向に伴い、人手不足が懸念される為である。また、栄養係の責任者が在宅サービス部の課長職（管理者）となっている為、管理業務への移行も視野に入れた補充である。採用された人材は栄養士であることから、ご利用者様の食を通した処遇向上に寄与できるよう OJT を進めたい。

目標に掲げている満足度アンケートの実施も出来ていない為、ご利用者様の意見を吸い上げるよう実施したい。桜町の認知デイでは重度の方も多く、自立して食事摂取できる方が減ってきており、自立度の合わせた食器や食具の買い替えも検討したい。

参加型のレクリエーションは桜町ではあまり実施出来ていない。栄養スタッフのみでの実施は難しく、ケアワーカーのサポートも必要である。来年度は調整し進めたい。

イベントや調理レク等の企画は通所と協働し実行できたと思うが、栄養係が主体では出来ておらず、満足度アンケートの実施や BCP の作成にも至らず次年度以降に向けて、取り組むべき課題である。

支出削減については業者を追加契約し、発注作業を細かく行うも新型コロナや鶏インフルエンザ、ウクライナ情勢等の影響により根本的な食材料の値上げが大きな打撃となっている。小金井市の助成や利用料の値上げはあるものの、来年度以降も引き続き食事単価は厳しい状況である。

また、福利厚生を趣旨としたヨハネホームの職員食は、通年して実施できている。

4) 居宅介護支援係

- ・通年では目標数値を達成できた。減算はなかった。
- ・目標件数は達成できたが、日々のケアプラン業務に追われてよりよいケアプランのための研鑽に労力が振り向けることがあまりできなかった。
- ・コロナ禍前は積極的に研修に出向いていたが、コロナ禍を機に研修参加に消極的になり、その傾向が続いてしまっていた。時間がない等言われると参加を強く促すことも難しいと感じた。

5) 地域包括支援係 (小金井きた地域包括支援センター)

①「多様な業務を円滑に遂行するために効率化・合理化を図り、働きやすい職場を目指す」ことに関して

- ・市からの委託事業の他、総合相談、ケアプラン作成、地域連携など包括の業務は年々増えている。個人の努力と所員同士が助け合うことで勤務時間内に効率よく業務をこなす努力をした。困った時には一人で悩みを抱え込まず、相談しながら問題解決を図ろうとする姿も見られ、雰囲気もよくなってきたように感じる。
- ・処遇困難ケースの対応は経験者がバトンタッチすることが多かった。今後は他の職員も少しずつ経験を積んでいく必要がある。
- ・研修や勉強会への参加は特定の職員に集中しがちであった。業務に関係するものについては声をかけ参加を促したが、市や関連団体からの案内のメール、MCS が来てもあまり目を通さない職員もいた。業務に追われ余裕がないのか勧められないから申し込みをしないのかよくわからないが、学びの姿勢は大切なので、その点は改善すべき点だと感じた。

②「コロナ禍でも安心して通える場の確保と社会資源の掘り起こしを地域の住人と共に進めていくこと」に関して

- ・コロナも 5 類となり、感染予防に配慮しながら通いの場に顔を出していった。サロン同士の横のつながりが無いことに着目し、連絡会を開催し、情報交換、人脈づくりにも力を入れた。1 つの出会いが新たな人との繋がりとなり、防災、認知症サポーター養成講座を地域に向けて開催する時にボランティアとして参加いただくことができた。
- ・前年度に引き続きスマホの操作が不得手な高齢者に対し、スマホ教室の案内を行った。公式 LINE で地域の活動、講演会、暮らしに役立つ情報を積極的に発信した。
- ・認知症に対する取り組みとしては認知症推進員を中心に認知症サポーター養成講座を地域の方々向け、市職員向けに実施した。
- ・「認知症カフェ」も毎回 20 名以上の参加があり定着した。飲み物、個包装の菓子も再開し、年度途中からはペットボトルから温かいお茶の提供（カップで飲む形式）に変更した。その

結果、飲食する方が増えた。

③「誰もが住み慣れた町で安心して暮らせるよう関係機関との連携を強化する」ことに関して

- ・医療と介護の連携の会議、研修、講演会には極力参加し、横のつながりを大事にした。研修は集合・オンラインの選択制に代わり、顔を合わせる機会も徐々に増えた。
- ・地域の緩やかな見守りの中、「新聞が数日溜まっている、1週間程ゴミが出ていない」等の情報が入り、実態把握で訪問すると家の中で倒れて動けなくなっているところを保護する場面があった。住民、民生委員からの通報、情報提供はとても有効だった。日頃より「何かあったら連絡を」「ちょっとした困りごとは包括へ」の声掛けが早期発見に繋がった。

④総括

従来の委託業務に新たな事業が加わり（ハイリスクアプローチ）、プラン数の増加、処遇困難ケースの対応、休職者のカバーもあり前年度に比べ業務量は増えた。事業を担当していない職員にはプランを多く担当してもらうなどし、バランスを考えて業務にあたった。

認知症の進行でゴミ屋敷化し、身動きできなくなっている高齢者の通報も増え、市長申し立てでの成年後見制度の利用も多かった。

ヨハネホーム、桜町病院との連携も増え、緊急対応時には非常に心強い存在となった。今後こうした法人内連携をお願いすることが増えていくと思うので、横のつながりは大事にしていきたい。

2024年2月小金井市による介護予防支援事業に対する実地検査が実施され、一部記録の不備に関する指摘事項があり、改善報告書の提出を行っている。

年間総合相談数・・・3089件

年間総プラン数・・・4143件（うち直プラン3262件） 月換算で345件作成。

↳前年度より500件増。今後も増加が見込まれる。

2023年度

在宅サービス部 利用実績集計表

(桜町高齢者在宅サービスセンター)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	通所介護 営業日数	25	25	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	307
	1日 定員30名（目標24名/日）	750	750	780	780	810	780	780	780	750	720	750	780	9,210
	実利用者人数	70	70	71	73	74	75	77	83	83	88	90	91	79
	延利用者数合計	561	563	617	579	612	566	578	563	556	529	567	614	6,905
	延利用者数（一般）	544	550	599	563	596	548	562	545	540	513	550	601	6,711
	延利用者数（現行相当型）	17	13	18	16	16	18	16	18	16	16	17	13	194
	登録者数	72	72	73	70	71	63	67	67	66	69	69	72	69
	新規者数	0	3	2	2	0	1	1	5	0	2	3	3	22
	終結者数	0	0	3	2	2	1	4	1	1	1	0	0	15
	月利用率	74.8%	75.1%	79.1%	74.2%	75.6%	72.6%	74.1%	72.2%	74.1%	73.5%	75.6%	78.7%	75.0%
	認知症対応型 営業日数	25	25	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	307
	1日 定員24名（17名/日）	600	600	624	624	648	624	624	624	600	576	600	624	7,368
	実利用者人数	46	48	50	51	51	55	56	62	62	64	66	66	56
	延利用者数	354	362	383	373	383	360	378	369	386	329	340	372	4,389
	登録者数	46	46	49	50	45	51	51	44	48	41	42	41	46
	新規者数	3	0	5	0	0	4	4	2	2	0	2	2	24
	終結者数	0	1	2	2	5	0	2	2	2	2	2	3	23
	月利用率	59.0%	60.3%	61.4%	59.8%	59.1%	57.7%	60.6%	59.1%	64.3%	57.1%	56.7%	59.6%	59.6%
	総合事業通所型（市基準） 営業日数	20	20	22	20	22	20	21	20	21	19	19	20	244
	1日 定員10名（金20名）（目標7.5名/日）	240	230	270	240	250	250	250	230	260	230	220	250	2,920
	実利用者人数	34	39	39	39	39	40	42	46	47	48	50	50	43
	延利用者数	158	146	179	160	156	154	166	147	154	146	133	150	1,849
	登録者数	34	35	34	33	34	30	30	33	32	35	35	34	33
	新規者数	2	3	0	0	0	2	2	2	0	1	1	1	14
	終結者数	1	0	2	0	3	0	2	0	1	2	1	2	14
	月利用率	65.8%	63.5%	66.3%	66.7%	62.4%	61.6%	66.4%	63.9%	59.2%	63.5%	60.5%	60.0%	63.3%
訪問入浴	訪問入浴 営業日数	4	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	5	52
	目標件数 6.0件/日 1日/週	24	24	30	24	24	30	24	24	30	24	24	30	312
	延入浴件数	24	25	28	24	21	22	20	17	20	19	19	22	261
	延清拭件数	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	6
	登録者数	6	6	6	6	6	6	6	6	4	4	4	4	5.3
	新規者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	終結者数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	月利用率	100.0%	108.3%	93.3%	104.2%	91.7%	76.7%	83.3%	70.8%	66.7%	79.2%	83.3%	76.7%	85.6%
	訪問介護 営業日数	25	25	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	307
目標件数 90件/週	380	380	397	397	411	397	397	397	380	366	380	397	4679	
延派遣件数	398	439	449	431	412	381	366	351	351	324	358	372	4632	
訪問介護延件数	272	309	333	324	304	281	255	219	222	209	237	247	3212	
総合事業訪問型サービス延件数	102	109	97	88	94	91	99	124	113	105	109	111	1242	
自費訪問介護延件数	24	21	19	19	14	13	12	8	16	10	12	14	182	
登録者数	62	62	62	60	60	59	52	53	50	51	51	52	56.2	
新規者数	2	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	8	
終結者数	1	0	2	0	1	7	1	3	0	0	1	1	17	
月利用率	104.7%	115.5%	113.1%	108.6%	100.2%	96.0%	92.2%	88.4%	92.4%	88.5%	94.2%	93.7%	99.0%	
居宅介護支援	介護プラン作成件数 実績	167	172	170	163	165	162	164	163	163	158	158	161	1966
	162/月 新規者	6	8	3	1	2	4	6	3	6	3	6	10	58
	終結者	1	2	5	4	1	5	4	4	8	6	5	7	52
	介護プラン作成利用率	103.1%	106.2%	104.9%	100.6%	101.9%	100.0%	101.2%	100.6%	100.6%	97.5%	97.5%	99.4%	101.1%
認定調査件数 他市含 4/月	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	
包括支援	介護予防・総合事業プラン件数計 310件/月	331	332	340	342	345	344	344	344	339	339	343	341	4084
	直営件数 245件/月	260	262	272	271	272	268	269	271	266	265	267	269	3212
	直営新規件数	5	5	9	9	5	7	5	3	5	3	6	7	69
	直営月利用率	106.1%	106.9%	111.0%	110.6%	111.0%	109.4%	109.8%	110.6%	108.6%	108.2%	109.0%	109.8%	109.3%
	委託件数 65件/月	71	70	68	71	73	76	75	73	73	74	76	72	872
	委託新規件数	2	2	1	1	3	3	0	1	2	3	2	1	21
	委託月利用率	109.2%	107.7%	104.6%	109.2%	112.3%	116.9%	115.4%	112.3%	112.3%	113.8%	116.9%	110.8%	111.8%
栄養事業	市食の自立（受託）配食 営業日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293
	目標食数 4食/日	96	96	104	100	104	96	100	96	96	92	92	100	1,172
	利用者実人数	5	6	6	5	5	4	4	4	4	3	3	4	4
	延食数	107	113	133	103	108	83	89	88	92	65	65	76	1,122
	市食の自立配食月利用率	111.5%	117.7%	127.9%	103.0%	103.8%	86.5%	89.0%	91.7%	95.8%	70.7%	70.7%	76.0%	95.3%
やすらぎ支援	給食数（通所昼）	913	926	988	988	1,034	915	962	943	950	864	918	994	11,395
	利用者実人数	8	8	8	9	8	8	8	8	8	8	8	7	8.0
	延派遣回数	20	19	20	21	18	14	13	13	13	14	14	10	189
ボラ	支援員登録数（神保含め活動中支援員）	12（6）	12（6）	12（6）	12（6）	12（6）	12（6）	12（6）	12（6）	12（6）	12（6）	12（6）	12（5）	12
	ボランティア総回数（生活）	41	39	52	53	49	45	44	49	44	44	42	41	543
	ボランティア総回数（教養）	31	31	38	29	29	33	34	44	33	39	33	38	412

【施設整備状況】

（１）概況説明

設置後 33 年が経過しており、ボイラー・ポンプ・厨房機器など様々な設備・備品に修繕・メンテナンスの必要が出ている。また、リモート会議や研修も多く開催されることからパソコンなどの整備も必要である。施設全体の状況を把握し優先度を決めたいうで計画的に整備を進めていく必要がある。

（２）主な購入物品

①	2023 年 5 月	厨房スチームオーブン（中古）	649,990 円
②	2023 年 5 月	ノートパソコン×3	93,500 円
③	2024 年 10 月	3 階 A3 レーザープリンター	44,400 円

（３）主な修繕費等

①	2023 年 5 月	厨房食器洗浄機修理	29,942 円
②	2023 年 5 月	真空式温水ヒータ部品交換	227,700 円
③	2023 年 6 月	衣類ガス乾燥機バーナー交換	123,000 円
④	2023 年 6 月	ふれあい 1 号クーラー修理	61,600 円
⑤	2023 年 7 月	樹木剪定	176,550 円
⑥	2023 年 8 月	エレベーター予備バッテリー交換	46,200 円
⑦	2023 年 9 月	雨水槽ポンプ交換	286,000 円
⑧	2023 年 10 月	厨房ブラストチラー修理	41,030 円
⑨	2023 年 11 月	地下職員用トイレバルブ交換	69,000 円
⑩	2023 年 12 月	2 階デイルーム流し台水栓交換	68,200 円
⑪	2024 年 3 月	玄関前アスファルト補修	41,800 円
⑫	2024 年 3 月	地下・2 階給湯バルブ修理	253,000 円

2023年度 研修実施一覧表（期間 2023/4/1～2024/3/31）

（部署名 桜町高齢者在宅サービスセンター）

日 程	分 類	研 修 内 容	場 所	氏 名
5月	介護	ケア勉強会（入浴）	桜町センター1階	通所介護職員
7月	感染症	感染症研修（食中毒）	桜町センター1階	全職員
8月	虐待防止	高齢者虐待防止研修（身体拘束）	桜町センター1階	全職員
8月25日	総合	小金井介護事業者連絡会（通所グループ会）	WEB	鈴木 治実
9月13日	リスクマネジメント	BCP作成のための研修	WEB	鈴木 治実
10月	リスクマネジメント	事故や緊急時の対応	桜町センター1階	通所介護職員
11月	感染症	感染症研修（動画視聴、手洗い）	桜町センター1階	全職員
12月	介護	ケア勉強会（食事・嚥下）	桜町センター1階	通所介護職員
12月20日	障害福祉	令和5年度 第1回 介護支援専門員研修 「ケアマネジメントに活かす障害サービスの予備知識」	萌え木ホール	金丸 直子 高野 満知子
1月	総合	2024年度介護報酬改定に関する研修	WEB	鈴木 治実
1月	総合	集団指導研修（通所介護・訪問介護）	WEB	鈴木 治実 志藤 将
2月	認知症	認知症ケア研修	桜町センター1階	全職員

（部署名 桜町ホームヘルプステーション）

日 程	分 類	研 修 内 容	場 所	氏 名
9月15日	リスクマネジメント	[動画研修] 災害伝言ダイヤル171 災害伝言板WEB171を活用した 災害時の連絡の取り方 [実践] 災害伝言ダイヤルを活用して実際に 連絡を取り合えるか実践してみる	桜町センター2F	訪問介護員10名参加
11月17日	感染症	[動画研修] ノロウイルス感染性胃腸炎について 引用：ノロウイルス嘔吐物処理方法 社会医療法人財団 白十字会	桜町センター2F	訪問介護員8名参加
11月17日	介護	介護保険外の自費サービス 事例報告と市内事業所の料金 とサービス内容について	桜町センター2F	訪問介護員8名参加
12月14日	虐待防止	令和5年度東京都高齢者権利擁護推進事業 介護サービス事業管理者 高齢者権利擁護研修	立川たましん RISOURU 大ホール	志藤将
1月19日	虐待防止	[動画研修] 高齢者虐待と権利擁護 引用：東京都福祉保健財団	桜町センター2F	訪問介護員9名参加
1月25日	リスクマネジメント	カスタマーハラスメント研修 小金井事業所連絡会	小金井市民会館 萌え木ホール	川崎なつみ

(部署名:小金井きた地域包括支援センター)

日 付	分 類	研 修 内 容	場 所	氏 名
7月6.7日	総合	地域包括支援センター職員初任者研修	オンライン研修	及川
7月19.20日	総合	地域包括支援センター職員初任者研修	オンライン研修	遠藤
9月11日	ケアマネ	2023年度第4回C-MAT研修「65歳の壁」介護保険制度と障害者総合支援法	オンライン研修	高野
10月4日	虐待	権利擁護テーマ別研修第3回	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	中川
10月4日	ケアマネ	主任ケアマネ更新研修1日目:①リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	オンライン研修	高野
10月23日	ケアマネ	主任ケアマネ更新研修2日目:②看取り等における看護サービスの活用に関する事例③認知症に関する事例	オンライン研修	高野
11月11日	ケアマネ	主任ケアマネ更新研修3日目:④入退院時等における医療との連携に関する事例⑤家族への視点が必要な事例	オンライン研修	高野
12月4日	ケアマネ	主任ケアマネ更新研修4日目:⑥社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例⑦状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	オンライン研修	高野
1月22日	ケアマネ	小金井市医師会地域医療委員会主催 第32回在宅医療ケア勉強会「地域で支える認知症～小金井市ではどうしていく」	オンライン研修	高野
1月24日	ケアマネ	C-MAT 令和5年度特別企画WEB研修 「2024年度介護報酬改定」～制度改定・報酬改定に向けてケアマネジャーが知っておくべきこと～	オンライン研修	高野
1月31日	ケアマネ	公益社団法人東京都栄養士会主催 令和5年度栄養ケア活動支援整備事業研修	オンライン研修	高野
2月15日	ケアマネ	包括主任介護支援専門員主催 小金井市介護支援専門員研修第2回 「高齢者本人の意思決定支援について」	小金井市社会福祉協議会2階会議室	高野

Ⅲ 本町高齢者在宅サービスセンター（通所介護）

【令和5年度利用状況報告】

● 事業別利用率状況（3か年の推移）

種別	定員	1日平均利用者数	利用率(2023)	利用率(2022)	利用率(2021)
通所介護（一般・予防）	25名	18.3名	73.5%	80.6%	88.4%
認知症型通所介護	12名	8.7名	72.5%	74.2%	82.1%
食の自立支援事業	80名	82.1名	102.6%	104.1%	103.1%

（1）通所介護（予防型・一般型）

①要介護度別実人数・延べ人数

介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	9	0	213	183	124	38	15	582
割合	1.5%	0.0%	36.6%	31.4%	21.3%	6.5%	2.6%	100.0%
介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	31	0	1530	1905	1510	591	75	5642
割合	0.5%	0.0%	27.1%	33.8%	26.8%	10.5%	1.3%	100.0%

●実人数 介護3以上 30.4% 介護3以下 69.6%

●延人数 介護3以上 38.6% 介護3以下 61.4%

②基本属性

平均年齢 82.7歳（最高100歳女性、最低67歳女性）

男女比率 男性30%：女性70%

利用登録者 要介護者58名 要支援者0名 合計58名

新規利用者（20名） 主な利用理由（外出機会の確保・転倒や認知症予防・趣味活動参加での生きがい作り・入浴希望・他デイ閉鎖に伴う移行）

廃止利用者（19名） 主な廃止理由（逝去・施設入所・他サービス利用・入院による状態変化・一般型への移行）

（2）認知症対応型通所介護

①要介護度別実人数・延べ人数

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	0	0	9	38	94	96	69	306
割合	0.0%	0.0%	2.9%	12.4%	30.7%	31.4%	22.5%	100.0%
	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	0	0	62	205	1005	790	609	2671
割合	0.0%	0.0%	2.3%	7.7%	37.6%	29.6%	22.8%	100.0%

●実人数 介護3以上 84.6% 介護3以下 15.4%

●延人数 介護3以上 90.0% 介護3以下 10.0%

②基本属性

平均年齢 87.5歳（最高98歳女性、最低76歳女性）

男女比率 男性33%：女性67%

利用登録者 要介護者26名 要支援者0名 合計26名

新規利用者（11名） 主な利用理由（認知症の方の全面的支援認知症ケア・見守り対応・家族介護軽減・入浴希望・その他等）

廃止利用者（11名） 主な廃止理由（逝去・施設入所・長期入院）

【職員】

	2024 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2023 年 4 月 1 日 の 職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1 名		1 名							1 名		1 名
生活相談員	3 名		3 名							3 名		3 名
介護職員		12 名	12 名								12 名	12 名
看護職員		4 名	4 名								4 名	4 名
栄養士調理員		3 名	3 名								3 名	3 名
宅配員		10 名	10 名			1 名	3 名	1 名	3 名		12 名	12 名
食の自立 Co	1 名		1 名							1 名		1 名
事務員		1 名	1 名								1 名	1 名
運転員		3 名	3 名								3 名	3 名
清掃員		1 名	1 名				1 名		1 名		2 名	2 名
合 計	5 名	34 名	39 名			1 名	4 名	1 名	4 名	5 名	37 名	42 名

※但し、兼務者は主たる業務でカウントしている。

【施設運営状況】

1. 指定管理協定更新の 2 年目

2023（令和 5）年度は小金井市の指定管理協定の第 6 期（5 か年：2021 年度～2025 年度）の 3 年目であった。

部門においては第 5 期高齢福祉部門中期経営計画【2023（令和 5）～2025（令和 7）年度】を踏まえ、経営の更なる恒常的安定を目指し、サービス・業務の向上に取り組んだ。

次期指定管理協定（2026 年度～2032 年度）に関しては、小金井市とも協議をしながら事業継続について検討を重ね、地域に根差した本町センターの存在意義、ご利用者様・ご家族様のサービス継続ニーズ、職員のモチベーション等をふまえ次期指定管理協定についても手上げをする方針とした。

2. 財務報告

本年度（2023（2023）年度）決算は、資金収支会計で当期資金収支差額合計は、8,760 千円の赤字となっている。

また、事業活動収支会計で当期活動増減差額は、9,493 千円の赤字であった。事業活動収支会計における介護保険事業収入は約 1 億 4,000 万円であった。

新型コロナウイルスの影響や入院、入所、体調の変化により利用がなかなか定着しないことは赤字となった原因ではあるが、次期指定管理委託契約にともなう本町センターの今後の事業運営の不透明さにより、現場職員に戸惑いが生じ、新規ご利用者様の受入れや居宅介護支援事業所に対する利用促進の働き掛けが消極的になったことが大きな原因である。また、利用人数に対して過剰な職員配置も理由の一つと考えられ、利用率に合った職員の訂正配置を進める必要がある。

小金井市の委託事業である食の自立支援配食事業においては、1 日目標 80 食に対して平均 82.1 食と高い数字を残した。

【利用者支援状況】

1. サービス方針に則った取組み

(1) 人格を尊重した福祉の実践

1) 労務環境改善取組み

- ①処遇改善計画の立案・実施
 - ・処遇改善手当対象外職員への賃金改善など
 - ・国家資格受験料助成、健康管理支援（メンタルヘルスチェック、健康診断オプション検査助成）
- ②身体健康管理対策
 - ・安全衛生標語の作成と MTG での唱和
 - ・腰痛ベルト支給
 - ・職員検診（4 月、5 月）
 - ・体温等体調確認チェック（毎日）の実施
 - ・インフルエンザワクチン予防接種（11 月）
 - ・新型コロナ抗原検査の定期的検査（週 2 回）の実施
- ④メンタルの健康管理対策
 - ・コミュニケーション改善のための OJT の習慣化
 - ・ストレスチェックの実施（中央労働災害防止協会）
- ⑤人材確保への取組み
 - ・求人に関する窓口の法人本部への一本化
 - ・ホームページリニューアルによる求人ページの活用

2) 人材育成取組み

- ①理念に則った支援の遂行
 - ・サービス提供現場での OJT
 - ・相談員 MTG、職員会議で支援の振り返りと検討
- ②介護事故、ヒヤリハットの振り返り
- ③生活相談員会議、看護師会議、給食会議、職員会議の定期開催
- ⑤メンター制による中途採用職員の育成
- ⑥各種研修への参加（別紙参照）
- ⑦フロアリーダーの任命・配置

3) 楽しみ、張り合い、心地よさの追求取組み

- ①楽しみの追求
 - ・給食会議の定例化（毎月第 2 火曜日）
 - ・行事食や食形態の見直し等を検討。
 - ・生活リハビリを兼ねた調理プログラムの実施（・大根もち作り・みかんジャム作り・・梅シロップ作り・赤しそジュース作り・どら焼き作り・白玉作り）
 - ・センターでの藍の栽培～藍染体験
 - ・野菜作りを通じた収穫体験、デッサン、試食等(玉ねぎ・きゅうり・ナス・赤しそ)
 - ・敬老会での手作りプレゼント作成（オリジナルフォトフレーム）
 - ・壁掛け用大型スクリーンの使用
- ②張り合いの追求
 - ・地域交流（地域イベントへの参加）
 - ・保育園とのプレゼント交流(小金井保育園、しんあい保育園、しんあいのぞみ保育園)
 - ・認知症進行予防の取組み立案と実施

- 1) 脳トレーニング 「脳を鍛える学習療法」
- 2) 回想法「よい聴き手であり続けるために」
- ③重度障害・医療ニーズの高い認知症高齢者、看取り支援
 - ・ 重度介護が必要な方や看取り介護が必要な方の受け入れ。
 - ・ 経管栄養、痰の吸引、在宅酸素、褥瘡処置
 - ・ 看取り支援（医療と多職種連携、食事摂取方法の検討、家族支援）
 - ・ 食形態（特食）食事摂取方法の検討（栄養部と連携）
 - ・ 在宅医療、介護サービスとの多職種連携（MCS の活用）

(2) 安全と安心の提供

1) 食の自立支援事業（配食、活動会食会、いっぷくカフェ、食の自立第三者委員会など）

①配食サービス

- ・ 配達日：日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く平日
- ・ 利用日：月水金または火木土の週 3 回以内
- ・ 対 象：下記ア、イの要件を満たし且つ包括支援センターの調査訪問結果で市の承認を得た方
 - ア：介護保険サービスを利用している方
 - イ：「ひとりぐらし」もしくは「高齢者世帯」、「その他の世帯」で食材の調達・調理が困難で、定期的な見守り支援が必要な方
- ・ 利用数：定員は 80 食/日。実績は平均 82.1 食/日。

②いっぷくカフェ

- ・ 開催頻度：月 1 回
- ・ 内 容：閉じこもり防止のきっかけづくりとして外出機会をつくる。昨年より新型コロナウイルスの感染対策をおこなって活動を再開しており、今年度も蔓延防止措置期間以外は実施した。
- ・ 対 象：食の自立支援事業配食サービスご利用者様から選定
- ・ 実施時間：14 時～15 時
- ・ 参加人数：5 名～6 名

③食の自立第三者委員会

- ・ 目 的：食の自立支援事業（配食、いっぷくカフェなど）が、事業の目的に適切に提供し機能するよう社会福祉法人聖ヨハネ会では第三者委員会を独自で設置した。
- ・ メンバー：第三者委員（配食ボランティア、元民生委員、オブザーバー（小金井市介護福祉課）、栄養係（課長、食の自立支援事業 CO）、センター長
- ・ 開催頻度：年 1 回（3 月 27 日に開催）
- ・ 内 容：食の自立支援事業のコーディネーターが新しく着任となった為、紹介する。実績報告、現在の利用状況の報告を行う。

④食の自立担当者会

- ・ 日 時：2024 年 1 月（年 1 回 実施）
- ・ 内 容：2023 年 8 月に入職した新任のコーディネーター（栄養士）の紹介と新規申請の待機者について課題共有し、対応策を講じた。

2) 利用者協議会

- ・ 日 時：2024 年 11 月 1 日に実施
- ・ 内 容：本町センターの事業運営に対し、ご利用者様や関係者の方の意見を伺うことにより、その内容を反映しながら適切にサービス提供するために実

施した。皆様からは、お褒めの言葉や意見を多くいただき、今後の事業運営や職員の励みに繋がった。

- ・参加者：地域住民、ボランティア代表、ご利用者様代表（配食）、ご家族様代表、小金井市職員、事業所職員

3) 建物設備

- ・2F 脱衣室エアコン室外機修理（4 月）
- ・1・2 階系統全館空調更新工事（6 月）
- ・ガスメーター交換工事（7 月）
- ・厨房内ガス給湯器交換修理（8 月）
- ・2F 浴室暖房交換修理（12 月）

4) 感染症予防取組み

①感染症対策委員会、安全衛生委員会の活動

- ・感染症研修の開催（9 月：食中毒予防 自施設研修）
- ・感染症シュミレーション研修開催・参加（2 月：自施設研修）
- ・ノロキット配備（車輛・建物）
- ・次亜塩素消毒薬による建物設備消毒実施
- ・ノロキット用塩素消毒薬の毎日交換実施
- ・インフルエンザ予防接種・検便検査実施
- ・新型コロナ抗原検査の定期的検査（週 2 回）の実施

②感染症予防環境対策

- ・コロナ禍での三密回避を踏まえた活動の工夫（活動場所の分散）
- ・エタノール手指消毒液（濃度 75%以上）の確保
- ・自動手指消毒・検温器の玄関フロア設置
- ・2 階フロアに空気清浄器（エアドック）の設置
- ・入館カードの記入
- ・送迎検温表の作成実施
- ・新型コロナ感染症予防対応マニュアル（通所介護編）の見直し
- ・害虫防除作業委託（通年）
- ・入館ルールの徹底（手指消毒薬の配備と案内掲示）
- ・抗原定性検査キットによる「東京都集中的検査」の実施（通年）
- ・感染疑い、要経過観察者発生時の対応方法見直し、経過観察スペース確保

5) コロナ感染症発生状況

5 月に新型コロナウイルスが 2 類から 5 類に移行された後も感染症予防対策には力を注いでいたが、通所介護事業で 9 月上旬に職員 3 名、ご利用者様 3 名の新型コロナウイルス感染が発生した。

罹患された方も体調は回復したが、通常の営業体制に戻すには時間を要した。感染症発生予防は永遠の課題であり、平常時から緊張感を持った予防対策徹底の必要性を痛感した。

6) 事故等発生状況

①労災事故

- ・介護中の噛付き事故 1 件、職員の転倒事故 2 件

②介護事故

- ・ご利用者の貴重品を破損させる物損事故 1 件
- ③ヒヤリハット
 - ・ 19 件
- ④車輻事故
 - ・ガソリンスタンドでの一般車両からのもらい事故（2023 年 7 月）
 - ・ポールに接触する自損事故（2023 年 10 月）
 - ・コンクリート接触による自損事故（2024 年 1 月）
 - ・送迎業務の帰所する際、運転中に歩いて来た歩行者と接触する事故（2024 年 3 月）
- ⑤苦情
 - ・なし

（3）地域との共生

1）認知症に強い街づくりへの取り組み

- ①みんなの安心ささえ愛ネットワーク
 - ・定例会：毎月第 3 火曜日 15 時～16 時 ※可能な限り参加。
- ②認知症を支える介護者の集い
 - ・開催日：毎月第一土曜日 13 時 30 分～15 時
 - ・内 容：認知症を支える在宅介護の経験を分かち合い、学び、気づきを得て、家族介護や自分自身と地域の今後に活かしていただく。
 - ・対 象：当センターにおける家族会は、家族介護者に限定せず、地域で認知症の方の在宅介護の支えとなっている方、支えになりたいと考えている方、認知症サポートに興味関心のある方が自由に参加できるよう門戸を開いている。
 - ・開催回数： 12 回（4 月～3 月）
 - ・参加人数： 延べ 60 名
- ③運営推進会議（認知症対応型通所介護）
 - ・開催日：2023 年 9 月 26 日（火）、2024 年 4 月 2 日（火）に
桜町高齢者在宅サービスセンターと合同開催
 - ・内 容：認知症型デイサービスの事業内容や事業状況を報告し、サービスの質を確保する。
 - ・参加者：地域住民（行政書士）、ご利用者様家族、包括支援センター職員、事業所職員

2）こがねい介護教室（家族介護者教室）

- ・日 時：11 月 11 日（土）13 時 30 分～15 時 00 分
- ・テーマ：「介護ストレスを抱え込まないために」
- ・講 師：阿久津 美栄子氏（NPO 法人 UPTREE 代表理事）
- ・参加者：9 名（職員除く）

【施設整備状況】

（1）概況説明

1998（H10）年 10 月開設から 25 年が経過。開設当初の設備備品は部品供給が終了しており修理不能のため入替が必要な状況。2023 年度小金井市で①1・2 階系統冷暖房空調更新工事②厨房内ガス給湯器交換修理③2 階浴室暖房交換修理実施していただいた。引き続き入替の必要な設備は、①1・2 階共用部分空調設備（GHP）②エレベーターの修繕（自動着床装置の不具合）③館内電灯設備の LED 化である。

当センターは市の指定管理委託施設で、福祉二次避難所でもある。被災時に建物設備の不具合から事故など二次災害が発生すれば市民に大きな不安を与えかねない。また通所介護事業ご

利用者様の安全・安心のためにも、日頃から市と連携しながら建物設備の更新は計画的にすすめてゆく。

(2) 主な購入物品

令和5年6月	折りたたみベッド購入	¥19,310
令和5年10月	洗濯機購入	¥45,760
令和6年1月	キッチンワゴン購入	¥17,980

(3) 主な修繕・設備入替

①本町C対応

令和5年6月	コンビオープン基板交換	¥45,430
令和5年10月	館内消火器更新(2本)	¥23,650
令和5年12月	厨房炊飯器修理	¥39,600
令和6年1月	特別浴槽用車椅子修理	¥65,780
令和6年1月	厨房洗浄機修理	¥41,800

②小金井市対応

令和5年6月	1・2階系統冷暖房空調更新工事
令和5年8月	厨房内ガス給湯器交換修理
令和5年12月	2階浴室暖房交換修理

【事業状況】（利用実績集計表・利用率の推移）

事業別 2023(R5)年度 利用実績集計表			2023年4月～2024年3月								本町高齢者在宅サービスセンター							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
介護保険事業	介護通所介護・一般	日数	25	25	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	307			
		23名/日 定員	575	575	598	598	621	598	598	598	575	552	575	598	7,061			
		介護給付 (23人想定)	新規	2	2	2	2	3	1	2	1	0	1	2	2	20		
			終結	0	0	0	0	1	1	0	1	4	3	5	2	17		
			登録数	56	58	60	63	65	65	67	67	63	61	58	58	-		
			実利用者数	46	45	49	50	50	49	52	49	49	48	45	44	-		
			延利用者数	472	452	491	492	485	478	490	504	483	438	405	417	5,607		
			人数/日当	18.9	18.1	18.9	18.9	18.0	18.4	18.8	19.4	19.3	18.3	16.2	16.0	18		
		利用率	82.1%	78.6%	82.1%	82.3%	78.1%	79.9%	81.9%	84.3%	84.0%	79.3%	70.4%	69.7%	79.4%			
		予防給付 (2名想定)	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	終結		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2			
	登録数		2	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	-			
	実利用者数		2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	-			
	小計	延利用者数	6	8	7	5	5	4	0	0	0	0	0	0	35			
		人数/日当	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1			
		利用率	12.0%	16.0%	13.5%	9.6%	9.3%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%			
		延利用者数	478	460	498	497	490	482	490	504	483	438	405	417	5,642			
		利用率	76.5%	73.6%	76.6%	76.5%	72.6%	74.2%	75.4%	77.5%	77.3%	73.0%	64.8%	64.2%	73.5%			
		介護通所介護・認知症	日数	25	25	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	307		
	事業	12名/日 定員	300	300	312	312	324	312	312	312	300	288	300	312	3,684			
新規			1	1	2	1	3	1	1	1	0	0	0	0	11			
終結			0	0	3	3	1	0	1	0	1	0	1	1	11			
登録数			27	28	27	25	27	28	28	29	28	28	27	26	-			
実利用者数			25	26	26	23	26	27	27	28	25	26	25	22	-			
延利用者数			227	219	210	228	242	232	235	238	224	202	200	214	2,671			
人数/日当			9.1	8.8	8.1	8.8	9.0	8.9	9.0	9.2	9.0	8.4	8.0	8.2	8.7			
利用率			75.7%	73.0%	67.3%	73.1%	74.7%	74.4%	75.3%	76.3%	74.7%	70.1%	66.7%	68.6%	72.5%			
介護通所介護合計			実利用者数	73	73	77	75	77	77	79	77	74	74	70	66	-		
延利用者数			705	679	708	725	732	714	725	742	707	640	605	631	8,313			
※通所介護全体利用率		76.2%	73.4%	73.6%	75.4%	73.3%	74.2%	75.4%	77.1%	76.4%	72.1%	65.4%	65.6%	73.2%				
家族介護者教室	回数									1				1				
	利用者数									9				9				
	認知症高齢者家族交流	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12			
		利用者数	2	2	4	14	5	3	11	2	1	3	9	4	60			
食の自立支援事業	食の自立支援	日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293			
		80人/日 定員	1920	1920	2080	2000	2080	1920	2000	1920	1920	1840	1840	2000	23,440			
		①②③⑤ 延食数	2084	2052	2234	2109	2140	1971	2029	1943	1940	1838	1840	1974	24,154			
		利用率	108.5%	106.9%	107.4%	105.5%	102.9%	102.7%	101.5%	101.2%	101.0%	99.9%	100.0%	98.7%	103.0%			
		①配食サービス	登録数	205	207	205	203	202	197	198	196	196	185	190	181	-		
			実利用者数	185	187	184	180	176	179	177	176	178	175	178	180	-		
			延食数	2071	2044	2229	2100	2124	1968	2024	1939	1936	1829	1832	1969	24,065		
			食/日当	86.3	85.2	85.7	84.0	81.7	82.0	81.0	80.8	80.7	79.5	79.7	78.8	82.1		
		利用率	107.9%	106.5%	107.2%	105.0%	102.1%	102.5%	101.2%	101.0%	100.8%	99.4%	99.6%	98.5%	102.6%			
		②緊急配食	実利用者数	2	1	1	1	3	0	0	0	0	1	1	0	10		
	延食数		11	4	1	5	12	0	0	0	0	5	3	0	41			
	③活動会食サービス		回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
			延利用者数	2	4	4	4	4	3	5	4	4	4	5	5	48		
			回数												0			
			延利用者数												0			
	④栄養マネジメント (自立推進クラブ)	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		⑤調査・ケアプラン	新規・継続	0	3	0	2	1	1	3	5	5	4	9	5	38		
			高齢者見守りサービス	実利用者数	2	4	3	3	3	2	2	2	4	3	3	33		
		パーチャタイム(自費)		延利用者数	12	14	13	16	14	10	14	18	12	14	14	12	163	
日常生活支援 (各種相談対応等)		実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ボランティア活動	実人数	20	17	15	16	15	16	15	16	19	18	16	17	-			
		延人数	35	40	32	32	32	33	34	33	43	34	29	32	409			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			

[illegible]

※ 分類は総合・介護・認知症・感染症・看護・栄養・リスクマネジメント・レク・虐待防止・介護予防・その他で記入下さい

3. 医療部門

I 桜町病院（生計困難者の為に無料・低額な料金で診療を行う事業）

【施設運営状況】

2023 年度は、事業活動資金収支差額▲6,454 千円、当期資金収支差額合計▲81,513 千円という大きな赤字で年度を終えることになった。特に事業活動資金収支差額については、コロナ禍で患者数の落ち込みが著しかった 2020 年度以来の赤字を計上することになった。以下その原因について説明する。

収入面では、外来・入院ともに患者数が予想を大きく下回ったことが最大の原因である。当初、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、外来患者の受診抑制についてある程度改善が見られるものと予測していたが、実際には 5 類移行後も発熱外来以外の受診者数は伸び悩んでおり、患者の受領行動がコロナ禍以降変化したものと推測せざるを得ない。加えて、5 類移行に伴う報酬改定により、発熱外来受診者の診療単価が大きく下がったことも収入減の一因となっている。これに対しては、外来診療時間の延長や地域連携の強化等による集患活動を行うべきところだったが、後述の通り内科の医師不足が原因で紹介患者を断らざるを得ない状況もあり、有効な対応が出来なかった。入院については、2023 年 1 月と 2023 年 5 月に内科の常勤医師が相次いで退職し、その後の補充に時間が掛かったことから、内科入院患者の受入が出来ず、目標を大きく下回る実績に終始した。分娩患者数、および手術件数がコロナ禍の時期に比べて回復傾向にあること、および専任医師を確保できたことによる健診ドック受入人数の増加により、昨年度に比べて収入が上乘せできた部分もあったものの、患者数の減少に伴う収入面での大きなマイナスを埋めるまでには至らなかった。

支出抑制については前年度から引き続き取り組んでいるものの、大きな成果を上げたとは言いがたい。当院の支出の大きな割合を占める人件費、とりわけ医師の人件費抑制は本年度の事業計画にも挙げており、経営改善会議等で検討を重ねたが、安易な医師数の削減は、人件費の削減額を上回る収入減を招きかねないため、今のところ踏み込んだ対応は取れていない。この点については、来年度以降時間を掛けて取り組むべき課題であると考えている。また、人件費や物価の高騰に伴い、医薬品費や診療材料費、業務委託費が高止まりしていることも経営を圧迫する原因となっている。院内採用品や委託業者の見直しによる上記費用の抑制についても、引き続き行っていく。

本館の建替えから 19 年を経て、施設・設備の老朽化が各所で表面化しつつある。加えて、2025 年度には電子カルテ等院内情報システムの更新を控えている。これらに係る費用を捻出するため、収支バランスの改善は最早待ったなしの状況である。2024 年度は上記の改善に向け、当院収入の約 6 割強を占める入院収入の改善を最優先に実行する。併せて、先に述べたような支出削減の取り組みを継続しつつ、積年の課題である診療機能の見直しと空床の有効活用についても検討を続ける。

【診療実績】

1. 一日平均患者数

外来、入院ともに前年度を下回る実績となった。入院については、前述のように医師退職にとりまう内科患者の減少が一番の要因である。他の診療科は近年の平均並み、ホスピスについては、入院患者数自体は減っていないものの、在院日数が短縮傾向にあるため、結果的に稼働が下がっ

ている。

外来は、新型コロナウイルス感染症の終息により、内科の受診患者が減っていることが要因として大きい。診療科により差はあるものの、コロナ以外の疾患による受診患者も増えているとは言い難く、コロナ前と比べて受領行動の変化（＝患者離れ）があったものとするのが自然だろう。積極的な増患策なしに今後の患者確保は難しいと考えられるため、地域連携の強化や診療時間の見直し等を検討していく。

	2023 年度 当初目標	2023 年度 実績	2022 年度 実績	2021 年度 実績
一日平均入院患者数	145.0 名	135.1 名	136.2 名	145.4 名
内科	71.0 名	62.5 名	66.7 名	69.2 名
外科	9.0 名	11.0 名	9.4 名	10.4 名
整形外科	35.0 名	33.7 名	33.4 名	36.7 名
小児科	1.0 名	1.1 名	1.0 名	1.1 名
産婦人科	11.0 名	11.9 名	10.2 名	10.8 名
眼科	1.0 名	1.1 名	1.2 名	1.2 名
ホスピス	17.0 名	13.7 名	14.3 名	16.1 名
一日平均外来患者数	330.0 名	280.9 名	291.2 名	290.9 名
内科	127.0 名	99.6 名	106.0 名	111.8 名
外科	19.0 名	14.9 名	18.6 名	18.2 名
整形外科	51.0 名	47.9 名	47.9 名	45.2 名
小児科	35.0 名	32.2 名	27.6 名	26.6 名
精神神経科	30.0 名	27.4 名	29.0 名	30.5 名
産婦人科	35.0 名	31.1 名	32.8 名	29.8 名
眼科	30.0 名	25.7 名	25.8 名	24.6 名
ホスピス	2.0 名	1.7 名	1.7 名	4.1 名

2. 手術件数

予定外の麻酔医の退職があったものの、手術件数は維持することができた。特に整形外科は過去最多（302 件／年）の手術件数であった。

反面、産婦人科の手術件数が伸び悩んでいる（2019 年度実績：534 件／年）のは、近隣医療機関における腹腔鏡手術の普及に依るところが大きいと思われる。これを解決するのは容易ではないが、改善に向けた検討は続けたい。

	2023 年度 当初目標	2023 年度 実績	2022 年度 実績	2021 年度 実績
年間手術件数	960 件	958 件	944 件	864 件
外科	—	33 件	22 件	28 件
整形外科	—	302 件	275 件	259 件
産婦人科	—	407 件	409 件	384 件
眼科	—	216 件	238 件	177 件

3. 分娩件数

コロナ禍により激減していた（2019 年度実績：360 件）が、今年度はようやく回復の兆しが見られた。とはいえ、小金井市の出生数はコロナ禍前後で劇的に変わっているとは言えず、市内の妊婦が市外医療機関へ流出している状況が伺える。今後も分娩件数を維持するためには、近隣分娩機関と比較して当院の強みとは何かを改めて検討し、市内の妊婦向けにアピールしていく必要があり、これを次年度への課題としたい。

	2023 年度 実績	2022 年度 実績	2021 年度 実績
年間分娩件数	272 件	241 件	249 件

4. 人間ドック、小金井市健診件数

ドック・健診担当常勤医師の入職により、前年度に比べて予約枠を増やしたため、受入人数は大きく増えている（特に健診）。反面、診察室の確保や検査のキャパシティがボトルネックになっており、それらの改善なしにこれ以上の増患が望めないのが現状である。

	2023 年度 実績	2022 年度 実績	2021 年度 実績
人間ドック件数	587 件	555 件	517 件
小金井市健診件数	1,719 件	1,437 件	1,636 件

5. 無料低額診療実績

数年前に比べ、半分近くまで数を減らしている（2019 年度実績：175 件／年）。コロナによる受診抑制も原因の一つだろうが、制度の周知が（行政内部においても）今一つであることが要因として考えられる。上記を受け、MSWによる福祉事務所等への訪問を毎年行っているが、事態は改善しているとは言い難く、今後は他の手段による制度周知を検討していく必要がある。

	2023 年度 実績	2022 年度 実績	2021 年度 実績
特別診療券による外来受診件数	87 件	107 件	137 件
特別診療券による外来受診人数（実人数）	24 名	37 名	27 名

【職員の状況】

内科常勤医（呼吸器担当）1名が2023年5月に退職したことにより、診療体制の見直しを余儀なくされた。採用活動は継続していたものの、補充が叶ったのは2024年度の1月であった。上記とは別に、今後の診療体制再編に向け、2024年3月に循環器担当の内科常勤医を1名採用した。

麻酔科常勤医2名のうち1名が9月に退職したが、後任常勤医師の（大学からの）派遣の目途が立たず、2023年度中は常勤1名と非常勤医師でやりくりせざるを得なかった。幸い、手術枠を減らすまでには至らなかったものの、人件費高止まりの一因となったことは否めない。なお、その後2024年4月に常勤麻酔医1名が入職している。

区分	2023年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2024年3月31日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	嘱託	正職員		非常勤職員		嘱託		正職員	非常勤職員	嘱託
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
院長	1									1		
副院長	1									1		
医師	21	37	2	6	4	4	10	1	1	23	46	2
助産師	8	13		2	1	2	4			10	11	
看護師	66	46	4	9	12	16	8	1	1	60	51	4
准看護師	1	2	1							1	2	1
看護助手	5	4	3	2	1	1	1			6	4	3
薬剤師	7			3	3	2	1	1		6	2	1
放射線技師	7			1						8		
臨床検査技師	7	2					1			7	1	2
PT・OT・ST	13	2		1	1	1				12	3	
栄養士	6									6		
MSW	5									5		
事務部	19	9		1	2	8	3	1	1	18	13	
施設	2		1							2		1
その他	22	35	1	2	2	4	6			19	34	1
合 計	191	150	12	27	26	38	34	4	3	185	167	15

事務部の人数は（事務部長・総務課・経理・医事課）

その他の人数は（看護部長室・ORT・診療技術部助手・調理師・調理員・心理士・保育士等）

【施設整備状況】

1. 機器等整備

2023年度は全身麻酔システム、北4病棟の特浴装置一式、OCT（光干渉断層計）、全自動注射薬払出装置等、合計2.27千万円を計画したが、その後の経営状況を鑑み一部は整備を見送った。

また、計画外で分娩台、電気メス、および新生児聴覚スクリーニング装置等の更新を行ったが、いずれも寄付金や補助金を利用した更新である。耐用年数を超過しているため、故障時の修理

が出来ない機器を多数抱えており、計画外であっても故障時には更新が避けられない状況である。耐用年数越えの機器については、来年度以降計画的に更新を進めていく。

機器名	数量	金額 (千円)	新設 更新	整備 箇所
全身麻酔システム	1	7,128	更新	手術室
小型卓上遠心機	1	276	更新	検査科
小型シリンジポンプ	3	610	更新	経理課
OCT（光干渉断層計）	1	8,800	新設	眼科
全自動注射薬払出装置（リース）	1	(年額) 4,593	更新	薬剤部
分娩台	1	2,860	更新	分娩室
電気メス	1	1,397	更新	内視鏡室
新生児聴覚スクリーニング装置	1	2,505	更新	検査科

2. 施設・設備整備

薬剤科エアコン更新（462 万円）、PAS（気中負荷開閉器）及び受電ケーブル交換（113 万円）、HEPA フィルター交換（154 万円）等を実施した。計画していた本館西側の外壁タイル面修繕工事（888 万円）は、施工業者の都合が付かず次年度に持ち越した。

ホスピス病棟の非常用放送設備が故障により使用不可となったため、計画外ではあったが設備の更新（115 万円）を行っている。

前述の機器同様、設備についても更新が必要なものを多数抱えている。特にエアコンに関しては、導入後約 20 年が経過しており、故障時の部品調達が困難になりつつある。エアコン停止による診療への影響は甚大であるため、来年度以降計画的に更新を進めていきたい。

【研修実施状況】

2023 年度は全職員対象の研修として、以下の研修を実施した。昨年度から引き続き、感染予防の観点から、E-ラーニング形式での実施を原則として行った。

憲襲名	実施年月	形式
『チーミング』 チーム医療について学ぶ	2023 年 8 月	e-ラーニング
より効果的な感染対策を考えよう	2023 年 11 月	e-ラーニング
不審者対応講習	2024 年 1 月	対面実施＋ 院内 Zoom 配信
薬物耐性（AMR）対策アクションプラン	2024 年 3 月	e-ラーニング

※部署単位で行う研修については記載省略

【特記事項】

1. 行政による立入検査について

2023 年 11 月、約 5 年ぶりに関東信越厚生局による適時調査を受けた。前回の調査以降、大半の期間においてコロナ禍による施設基準の猶予措置が敷かれていたこともあり、目立った指摘事項もなく終了した。

また、2023 年 12 月には、東京都保健医療局による医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入

検査（医療監視）が行われ、数点の指摘事項はあったものの、大きな問題はなく終了した。

2. さくらまち保育所、さくらんぼ保育室について

常勤職員 2 名、非常勤職員 4 名で運営している（職員は兼務）。職員の児の預かり（平日日中のほか、休日・夜間にも対応）の他、当院産後ケア利用者の児の預かり保育を行っている。さくらんぼ保育室では小金井市からの委託事業である病児保育を行っている。

2023 年度の実績は、一日平均 1.99 名の利用児、夜間保育 45 回、休日保育 4 回、病児保育 107 名（延べ）、産後ケア預かり 67 名（延べ）であった。

3. さくらまち児童ショートステイについて

小金井市ほか 3 市の障害児の短期入所、および日中一時支援を常勤職員 6 名で行っている。2023 年度は短期入所の利用人数 344 名、利用件数 425 件及び日中一時支援の利用人数 42 名、利用件数 54 件の実績であった。

5. 収益事業部門

施設名 : シニアハイムさくら (高齢者賃貸住宅)

【施設運営】

小金井の地で医療・介護・福祉サービスを展開している中で、入院や特養入所にいたる前の段階で小規模でも安心して生活できる場の形成が必要との考えから、高齢者賃貸住宅を提供することの意義があると考え本事業をスタートし7年目を迎えた。地域包括ケアシステムを構築する過程で老後を自宅又は小金井市内にて居住したいとの要望は大変高いが、全くの在宅独居の生活は不安だという高齢者の方の住まいが求められており、高齢福祉部門としても介護保険事業だけでは本来目指そうとしている高齢者の安心につながるサポートを充実できないという考えでこの事業を開始した。対象者は自立された方で在宅介護サービスを利用し自立生活可能な方とし、介護スタッフは配置せず管理人を配置し、ケアマネジャーは桜町ケアマネジメントセンターが基本的に受け持つという基本方針で進めることとなった。

これまでの経験から、利用者の前住居の整理、荷物の取捨選択といったところに時間をかなり要することがわかってきた。また入居後に身体の衰えなどで特養への入所に移ってしまうケースも予想していた以上に多いということがわかった。今後は積極的な入居は行わないこととしたい。

【2023 年度利用状況報告】

種別	定員	1 日平均利用者数	2023 年度利用率
シニアハイムさくら	5 室	1 名	20.0%

【施設整備状況】

特になし

三 理事会

第 354 回 2023 年 4 月 19 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 2023 年度運営協議会委員の選任の件
- 第 2 号議案 2023 年度予算の見直しの件
- 第 3 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
(1)桜町病院給与規程

第 355 回 2023 年 6 月 7 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 2022 年度監事監査報告の承認の件
- 第 2 号議案 2022 年度事業報告及び計算書類等の承認の件
- 第 3 号議案 社会福祉充実残額の承認の件
- 第 4 号議案 次期役員候補者の選出の件
- 第 5 号議案 役員等賠償責任保険契約の承認の件
- 第 6 号議案 定時評議員会の招集事項決定の件
- 第 7 号議案 桜町聖ヨハネホーム管理者選任の件

（２）報告事項

- 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について（下半期実績報告）

第 356 回 2023 年 6 月 21 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 新理事長の互選の件
- 第 2 号議案 新業務執行理事の互選の件

第 357 回 2023 年 7 月 26 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 寄付金による購入案件の件
- 第 2 号議案 聖ヨハネホスピスケア研究所の活動の件
- 第 3 号議案 桜町聖ヨハネホームの設備状況の件
- 第 4 号議案 基本財産の貸付に関する承認の件
- 第 5 号議案 施設長等の人事の件

第 358 回 2023 年 8 月 23 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 インボイス制度の件
- 第 2 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
(1)通勤交通費にかかる規程（各事業所）
- 第 3 号議案 桜町聖ヨハネホームの設備状況の件

その他 飲料自動販売機設置の件

第 359 回 2023 年 9 月 27 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 桜町聖ヨハネホームの設備更新計画の件
- 第 2 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築基本計画策定業務委託の件
- 第 3 号議案 桜町病院資金一時貸与の件
- その他 通勤交通費の規程（桜町病院）の件

第 360 回 2023 年 10 月 18 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 桜町聖ヨハネホームの改築基本計画策定及び委託業務候補の件
- 第 2 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1)桜町病院旅費規程

（２）報告事項

- 報告事項 1 補助金活用による機器購入の件（桜町病院）

第 361 回 2023 年 11 月 7 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 桜町聖ヨハネホーム入所制限等の件
- 第 2 号議案 桜町聖ヨハネホーム設備更新計画の件

第 362 回 2023 年 11 月 22 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 2023 年度第一次補正予算の承認の件
- 第 2 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築基本計画策定業者選定の件
- 第 3 号議案 緑町聖ヨハネケアビレッジユニット化の件
- 第 4 号議案 評議員会の招集事項決定の件
- 第 5 号議案 桜町聖ヨハネホームエアコン改修工事入札説明等の件

（２）報告事項

- 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について
（上半期実績報告）
- その他 桜町聖ヨハネホームキュービクル見積合わせ結果の件

第 363 回 2023 年 12 月 27 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

- 第 1 号議案 定款変更認可申請の承認の件
- 第 2 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 経理規程
 - (2) 緑町短期入所運営規程
- 第 3 号議案 業務執行理事の選任の件

- 第4号議案 評議員会の招集事項決定の件
- 第5号議案 桜町聖ヨハネホーム管理者届出の件
- (2) 報告事項
 - 報告事項1 桜町聖ヨハネホームの運営状況等の件

第364回 2024年1月9日(火) zoomによるリモート開催

- (1) 決議事項
 - 第1号議案 桜町聖ヨハネホーム運営状況の件

第365回 2024年1月24日(水) zoomによるリモート開催

- (1) 決議事項
 - 第1号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 障害福祉部門運営規程類
 - 第2号議案 桜町聖ヨハネホーム施設長候補の件
- (2) 報告事項
 - 報告事項1 桜町聖ヨハネホームの運営状況等の件

第366回 2024年2月28日(水) zoomによるリモート開催

- (1) 決議事項
 - 第1号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 経理規程
 - (2) 桜町聖ヨハネホーム運営規程
 - 第2号議案 2023年度第二次補正予算の承認の件
 - 第3号議案 本町高齢者在宅サービスセンターの今後の件

第367回 2024年3月18日(月) zoomによるリモート開催

- (1) 決議事項
 - 第1号議案 2024年度事業計画及び予算の承認の件
 - 第2号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件
 - (1) 小金井聖ヨハネワークセンター管理者交代
 - (2) 障害福祉部門正規職員就業規則
 - (3) 〃 非正規職員就業規則
 - (4) 高齢福祉部門運営規程類
 - (5) 桜町病院給与規程
 - 第3号議案 施設長等の人事の件
 - 第4号議案 評議員会の招集事項決定の件
 - 第5号議案 特養建て替え促進施設に関する情報交換会の件
- (2) 報告事項
 - 報告事項1 本町高齢者在宅サービスセンターの今後の件

四 評議員会

第 113 回 2023 年 6 月 21 日（水）zoom によるリモート開催

（１）報告事項

報告事項 1 2022 年度監事監査報告の件

報告事項 2 2022 年度事業報告の件

（２）決議事項

第 1 号議案 2022 年度計算書類等の承認の件

第 2 号議案 社会福祉充実残額の承認の件

第 3 号議案 新役員の選任の件

第 114 回 2023 年 12 月 6 日（水）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

第 1 号議案 2023 年度第一次補正予算の承認の件

（２）報告事項

報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について（上半期実績報告）

第 115 回 2024 年 1 月 11 日（木）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

第 1 号議案 定款変更認可申請の承認の件

第 116 回 2024 年 3 月 28 日（木）zoom によるリモート開催

（１）決議事項

第 1 号議案 2024 年度事業計画及び予算の承認の件

五 経営会議

2023 年 4 月 26 日（水）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2023 年 2 月）について
- (2) 理事会・評議員会報告

【議 案】

- (1) 税務調査の指摘事項に関する協議について
- (2) 桜町聖ヨハネ祭について
- (3) 2023 年度予算について

2023 年 5 月 24 日（水）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2023 年 3 月）について
- (2) 理事会・評議員会報告

2023 年 6 月 28 日（水）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2023 年 4 月）について
- (2) 理事会・評議員会報告

2023 年 7 月 6 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1) 2022 年度決算報告について
- (2) 理事会・評議員会報告

【議 案】

- (1) 税務調査の指摘事項に関する通勤交通費の協議について
- (2) 経営会議の開催日について
- (3) その他

2023 年 8 月 3 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2023 年 6 月）について
- (2) 経営会議新委員について

【議 案】

- (1) インボイス制度について
- (2) 自動車保険について
- (3) その他

2023 年 9 月 28 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1)月次報告（2023 年 7 月）について

【議 案】

- (1) (1) 桜町聖ヨハネホーム改築に関する基本計画策定について
- (2) コロナ罹患時の取り扱いに関する調査について

2023 年 10 月 26 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1)月次報告（2023 年 8 月）について
- (2)各部門からの運営状況報告

【議 案】

- (1) 桜町聖ヨハネホーム改築に関する基本計画策定について

2023 年 11 月 30 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1)月次報告（2023 年 9 月）について
- (2)各部門からの月次報告フォーマットについて

【議 案】

- (1) 桜町聖ヨハネホーム改築に関する基本計画策定について
- (2) 2023 年度第一次補正予算について
- (3) 2024 年度事業計画及び予算作成スケジュールについて

2023 年 12 月 28 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1)月次報告（2023 年 10 月）について

2024 年 1 月 25 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2023 年 11 月）について

2024 年 2 月 22 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

- (1)月次報告（2023 年 12 月）について
- (2)理事会・評議員会報告

【議 案】

- (1) 2023 年度第二次補正予算について
- (2) 2024 年度入職式スケジュールについて
- (3) その他

2024 年 3 月 21 日（木）zoom によるリモート開催

【報告事項】

（1）月次報告（2024 年 1 月）について

【議 案】

（1）2024 年度予算について